



RGBシステムスイッチャ

# ISW-3851

取扱説明書

—第5版—

2009年12月

梅 沢 技 研 株 式 会 社

# 納入製品のお取り引き条件約款

## 製品の納入

- 納入済みの製品の解約は原則としてお断りいたします。
- 6ヶ月以上前の注文指定はお受け致しかねます。
- 納期を厳守いたしますが、止む無く納期変更の場合があります。その際、協議の上決めさせていただきます。
- 製品は、当社標準梱包方式で納入します。運賃等諸掛かりを別途に負担いただきます。
- 取扱説明書は、製品に1部添付しております。別途必要なときは有料となります。
- 製品は改良などの為予告なく意匠、使用の一部を変更することがあります。
- 製品の所有権及び滅失毀損等の危険負担は、納入時にお客様に移転します。
- 当社の据え付け工事を行う製品は、据え付け調整の完了をもって、お客様の検収終了といたします。
- 当社が据え付け工事を行わない製品は、製品納入から30日以内に検収願います。  
製品の不具合は30日以内に確認し、通知して下さい。通知のない場合は、検収終了といたします。
- お客様の支払い遅延その他の債務不履行があった場合、当社催促後10日以内に履行されないときは、お客様に対する当社の債務の履行を停止することがあります。
- ソフトウェア製品については、別途定める「ソフトウェア約款」に基づいて権利の許諾が受けられます。

## 製品の保証

- ・ここで使われる不具合とは、製品の故障や損傷を意味するもので、それらに起因する損害は含みません。
- ハードウェア製品に対しては、部品及び製造上の不具合について保証します。  
保証期間中は通知がありしだい、当社の判断で修理又は交換を行います。
- ソフトウェア製品に対しては、ソフトウェアの媒体の不具合について保証します。
- 保証期間中、該当するソフトウェアがハードウェア上に適切に設置されたに拘わらず、媒体の不具合が原因で正常実行されない場合は、当社の判断で媒体の修理又は交換を行います。
- 保証による修理は、当社営業時間の午前9時から午後5時30分の時間帯で実施します。尚、保証期間中内でも当社規定の出張修理地域以外での出張修理は、技術派遣費は実費請求となります。
- 当社の保証は、製品の動作が中断されないものであったり、エラーの皆無であること保証するものではありません。  
保証期間中に、当社が不具合を認めた製品を相当期間内に修理又は交換出来なかった場合、お客様に製品を返品ししてもらい、当社から購入金額をお返しします。
- 保証期間は、製品ごとに定められております。当社担当までお問い合わせ下さい。この期間を過ぎたものは、全て有償修理となります。保証は、当社が据え付け調整を行う製品については、据え付け調整完了日より開始します。また、据え付け調整を行わない製品のみについては、納入日より開始します。
- 当社の保証は、以下に起因する不具合に関しては適用されません。
  - (1) 適当又は不安全な保守、保管及び保存により生じた不具合。
  - (2) 当社が認めていない使用上の誤り、或いは不当な改造や修理により生じた不具合。
  - (3) お客様による輸送移動中の落下、衝突等及び据え付け場所の不備又は保全の不相当による不具合。
  - (4) 当社が認めていない車両、船舶ならびに航空機等へ搭載したことによる不具合。
  - (5) 当社以外のソフトウェア又は機器を接続して生じた不具合。
  - (6) 火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害等の天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による不具合。
  - (7) 日本国以外の外国にて使用した場合の全ての不具合。注意：上記による不具合製品については、性能や安全性を復旧できないことがあり、修理不能のことがありますので修理をお断りすることがあります。
- 当社は、以上に記載する以外の保証は行いません。また、製品の特定用途での性能や特性などの適応性や不具合に関する保証はいたしかねます。
- 当社による、製品の保守修理部品の供給期間は、その製品の廃止後5年間です。

## 製品又はサポートに対する責任

- 当社は、以下の事由に基づき第三者からの特許権等の侵害の申し立てに対し、その責任を負いません。
  - (1) お客様のデザイン、仕様、指示に基づく製品。
  - (2) 当社以外による製品の改造。
  - (3) 製品の不適当な使用。
  - (4) 当社以外から供給された製品と組み合わせて使用すること。
  
- 当社は、製品又はサポートによる特許権等及びその他の知的財産権侵害について、ここに記載されている以外の責任を負いません。
  
- 不可抗力による履行の遅滞や不履行については、お客様、当社双方その責任を負わないものとします。
  
- 製品は、人命に拘わる医療機器、航空機、船舶及び公共の場所などでの運用上の結果並びに原子力施設での運用による結果の責任を負いかねます。
  
- 当社の製品を使用したいかなるシステムの運用上の結果において、他の及ぼす影響や不具合に対して責任を負いかねます。
- 当社製品の不具合に対し、無償補償期間中のみ同等のものと交換します。直接関係の無い機器の不具合まで補償するものではありません。

# 安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくために注意事項を説明します。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

## 絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。  
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号はしてはいけないことを意味します。  
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号はしなければならないことを表しています。  
図の中に具体的な指示内容が描かれています。



### 警告

#### 異常状態（煙が出ている、へんなにおいや音がする）のときは電源プラグを抜く



●万一、煙が出ている、へんなにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因になります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。  
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

#### ふたは絶対あけない



- この機器のふたははずさないでください。感電の原因になります。  
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

#### 指定以外の電圧で使用しない



- 表示された電源電圧AC100ボルト以外の電圧で使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。

#### 指定以外のヒューズは使用しない



- 指定以外のヒューズを使用したり、ヒューズホルダの短絡は絶対に行わないでください。  
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

## 安全にご使用いただくために

### 内部にもものや水などをいれない



- この機器の開口部（通風孔など）から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



- 万一異物がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一この機器の内部に水など入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### 電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードを傷つけて、火災・感電の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



## 注意

### 湿気やほこりの少ない場所に置く



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

### 通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災故障の原因となることがあります。

### 電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

### お手入れのときは電源プラグを抜く



- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

# もくじ

ご使用にあたって	2ページ
1. 概要と特徴	
1-1. 概要	3ページ
1-2. 主な特徴	3ページ
2. 各部の説明	
2-1. 正面操作部	4ページ
2-2. 背面電源部	5ページ
2-3. 背面映像・音声入出力接続部	6ページ
2-4. 背面制御機器接続部	7ページ
3. 操作方法	
3-1. パワーON/スタンバイと映像の選択操作	8ページ
3-2. 多目的ダイヤル (ボリューム) 操作	9ページ
3-3. オプションスイッチ操作	10ページ
3-4. カスタムソフト搭載時の操作	11ページ
3-5. スイッチ操作と連動する制御内容	12ページ
4. 設定方法	
4-1. 本機設定一覧	13ページ
4-2. 設定変更操作方法	14ページ
4-3. 設定詳細	16ページ
4-4. 本体スイッチ/ボリュームロックの一時解除	21ページ
5. ケーブルの接続	
5-1. PC/音声入力ケーブルの接続	22ページ
5-2. ビデオ映像/音声/ライン入力のケーブルの接続	22ページ
5-3. PC出力/ビデオ映像出力/音声出力/RS-232C出力ケーブルの接続	23ページ
5-4. RS-232Cで本機を制御する時の接続	24ページ
5-5. 専用リモートユニット (RC-3851) /特型操作器 (CB-3851) の接続	25ページ
5-6. 電源コントローラの接続	26ページ
5-7. オプションスイッチ/キースイッチの接続	26ページ
6. コネクタ仕様	
6-1. PC映像入出力部	28ページ
6-2. リモートユニット「RC-3851」、接点入力変換器「CB-3851」専用	28ページ
6-3. 外部接続機器制御用RS-232Cコネクタ	29ページ
6-4. RS-232C制御入力コネクタ	29ページ
6-5. 電源コントローラ端子台	30ページ
6-6. オプションスイッチ/キースイッチ入力コネクタ	30ページ
7. オプション	31～32ページ
8. 仕様	33ページ
9. RS-232C通信仕様	
9-1. リモート制御 (CTRL INPUT) 通信条件	34ページ
9-2. 制御コマンド	34～35ページ
10. 故障かなと思ったら	36ページ

## ご使用にあたって

### お願い

- 輸送中、使用前において破損等がないことを確認の上使用してください。
- 本製品は、社内に於いて十分検査をした上で出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、販売店までご連絡ください。

### 注意

- 本製品は日本国内使用時に限り有効とします。日本国外での使用に関する問い合わせ及び責任には一切応じかねます。
- 人命にかかわる医療装置、航空機、船舶及び公共の場所などで運用した場合の責任には一切負いかねます。
- 本製品を使用したいかなるシステムの運用結果の影響、不具合に関しては一切責任を負いかねます。
- 弊社製品の不具合に関しては、同等のものと交換（無償補償期間中のみ）までといたします。その他の機器の不具合まで補償するものではありません。

### 注意

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

### 必ずお守り下さい

- 電源のON/OFFは電源スイッチより行い、電源コードの抜き差しによるON/OFFは行わないでください。
- 使用上で次のような症状が出た時は直ちに電源を切り、電源ケーブルを抜いて速やかに、販売店にご連絡ください。
  - (1) 異常な発熱、発煙、異臭、異音等が出た時。
  - (2) 電撃を受けた時。
  - (3) 画面に異常が出たり、スイッチコントロール等ができなくなった時。

# 1. 概要と特徴

## 1-1. 概要

本システムスイッチャは、プロジェクタを中心に周辺機器を取り込んだ機器です。

PC部、ビデオ部、音声部の切替を1台のスイッチャにまとめ、且つ、プロジェクタなど外部機器との連動動作を可能にしたシステムスイッチャです。下記の特徴があります。

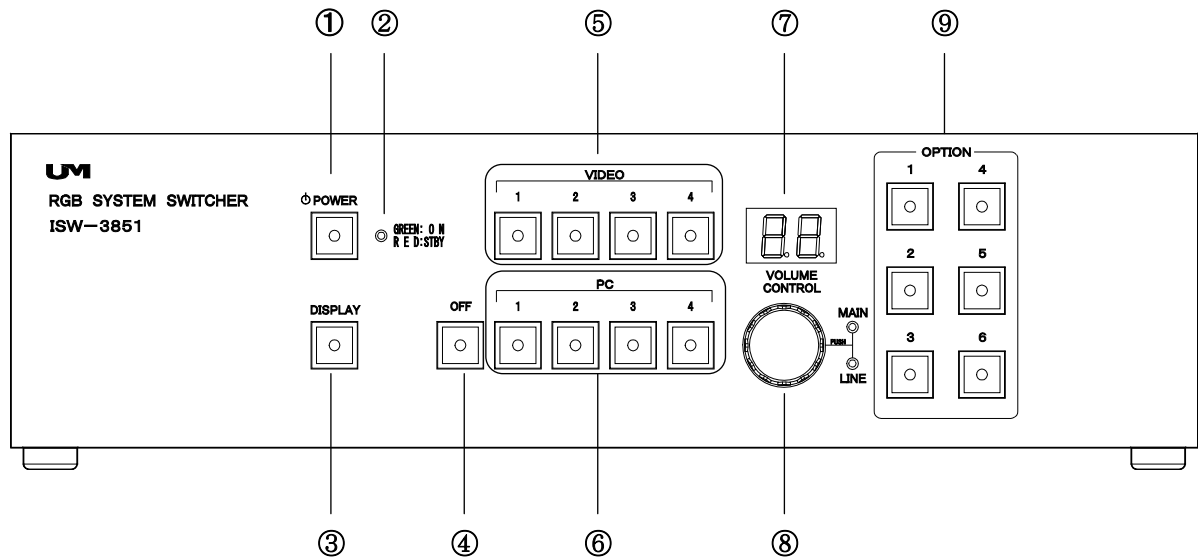
## 1-2. 主な特徴

1. 映像入力は、PC4系統、ビデオ4系統、出力は各々1出力です。  
このうち、PCの出力は、シュリンクDサブ15ピンとBNCの2分配ですので、目的に応じて使い分けできます。
2. RGB周波数帯域はDC～200MHzと広帯域のため、接続機器を選びません。
3. 音声は、ステレオ8系統入力映像系と連動で切替わります。これとは別にステレオライン入力があり、選択音声とミキシングし出力します。
4. 音声調整ボリュームは、メインの選択音声とライン入力をダイヤル操作で独立して調整でき、ボリュームは数値で表示されます。ライン入力は0dB/-10dBの選択式アッテネータを内蔵しており、高レベルの入力による音声の歪を制御できます。
5. 切替操作は、本体前面部スイッチ、専用リモートコントローラ(RC-3851)、接点制御(CB-3851)、RS-232Cと、用途に合わせて選択可能です。
6. プロジェクタ等の外部機器制御用出力(RS-232C)を装備しています。  
カスタムソフトを搭載することで、外部機器の電源ON/OFF、RGB/VIDEOの切替動作を連動して行えます。
7. 多目的オプションスイッチを6個装備しています。  
これにより接点制御の外部機器を、本機と連動、非連動にて制御できます。  
(使用例) 電動スクリーンの昇降と電動カーテンの開閉など
8. 電源コントローラ用リレー接点を装備しています。パワーON/スタンバイに連動動作するため、システム電源としても利用できます。
9. VCCI-A(クラスA情報技術装置)取得。
10. RoHS指令対応製品です。



## 2. 各部の説明

### 2-1. 正面操作部



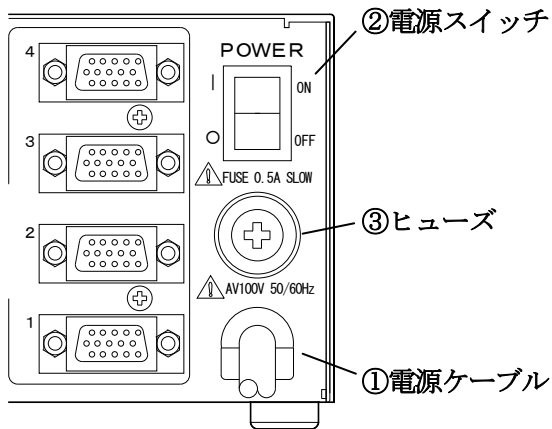
- ①POWERスイッチ 本機のスタンバイ状態から電源の入/スタンバイを選択します。(p8参照)
- ②POWER LED スタンバイ時：赤点灯（設定により消灯できます。[設定番号11.3](#) p20参照）  
パワーON時：緑点灯
- ③DISPLAYスイッチ プロジェクタ等の外部接続機器をON/OFFをします。  
カスタムスタムソフト搭載器のみ有効です。(p11参照)
- ④OFFスイッチ 選択された映像・音声を一時的にOFFします。  
OFF選択中のLINE音声は設定により消音/拡声の選択ができます。  
(p8参照)
- ⑤VIDEO選択スイッチ 入力映像・音声のVIDEO 1～4を選択します。(p8参照)
- ⑥PC選択スイッチ 入力映像・音声のPC 1～4を選択します。(p8参照)
- ⑦状態表示ディスプレイ 音量や音質などの設定値や、各種設定状態が表示されます。(p9参照)
- ⑧多目的ダイヤル 音量や音質などの調節や各種設定操作を行ないます。  
通常は音量操作を行なうダイヤルで、ツマミを押すことで、  
MAIN/LINE音声を切り替えます。(p9参照)
- ⑨オプションスイッチ 多目的に使用するスイッチです。電動スクリーン、電動カーテン等  
接点制御機器が操作できます。(p10参照)

※ 各スイッチは、設定により連動動作等ができます。詳細は4-1項設定一覧をご覧ください。(p13参照)

## 2. 各部の説明

### 2-2. 背面電源部

本機背面



<電源の投入手順>

全ての接続が正しいことを確認します。



①電源ケーブルをコンセントに差し込みます。



②背面にある電源スイッチをONにすると、設定番号1.2(p16)に基づき本機はスタンバイ又は、パワーオンします。



### 注意

- ・ 電源は、必ず所定のコンセントから取り確実に差し込んでください。
- ・ 電源ケーブルの上に物を乗せたり、強く引いたり、鋭利なものに当たったりしないでください。
- ・ 電源スイッチの再投入は、5秒以上経ってから投入してください。

③ヒューズ 0.5Aガラス管ヒューズ使用

②の電源スイッチをONしてもスタンバイ状態にならない場合、コンセントからの電源が供給されていないか、ヒューズが切れている場合があります。  
お手数ですが弊社にお問合せ下さい。

### 警告

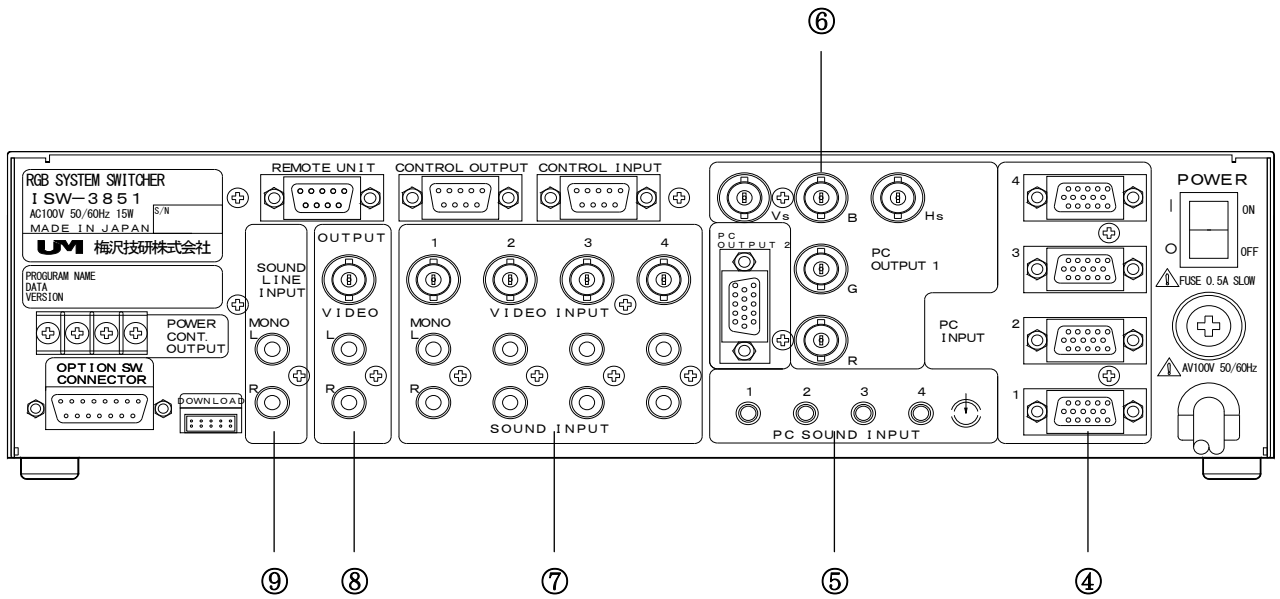
- 指定以外ヒューズの使用及びヒューズホルダの短絡は絶対に行なわないで下さい。

B種

溶断特性 160% ≤ 60分 \* 200% ≤ 2分 同等品使用

## 2. 各部の説明

### 2-3. 背面映像・音声入出力接続部



#### ④ PC INPUT

PC映像の入力です。1～4にパソコン映像を接続します。  
(p22参照)

#### ⑤ PC SOUND INPUT

PC音声の入力です。1～4にパソコン音声を接続します。  
(p22参照)

#### ⑥ PC OUTPUT 1 /PC OUTPUT 2

選択されたPC映像の出力です。プロジェクタ等のRGB表示装置に接続します。2分配形式です。  
(p23参照)

#### ⑦ VIDEO INPUT /SOUND INPUT

コンポジットビデオ/音声信号の入力です。ビデオ1～4にビデオ・DVD等の映像・音声信号を接続します。  
(p22参照)

#### ⑧ VIDEO OUTPUT /SOUND OUTPUT

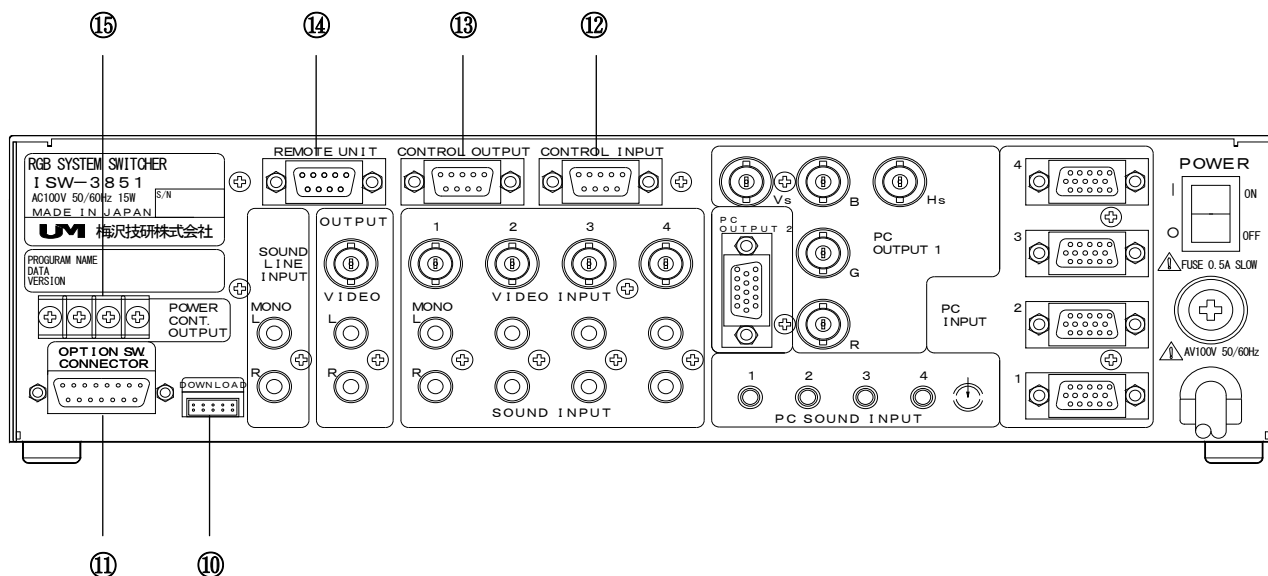
選択されたビデオ映像・音声の出力です。プロジェクタ等の映像表示装置、アンプ等に接続します。音声出力は、選択音声とライン音声のミキシング出力です。  
(p23参照)

#### ⑨ SOUND LINE INPUT

ライン音声の入力です。ワイヤレスチューナー等の音声を接続します。  
(p22参照)

## 2. 各部の説明

### 2-4. 背面制御機器接続部



#### ⑩DOWNLOAD

メンテナンス用コネクタです。  
使用上機能を持っていないため、絶対に接続しないで下さい。

#### ⑪OPTION SW. CONNECTOR

オプションスイッチ出力/キースイッチ入力用コネクタです。  
オプションスイッチの接点出力とキースイッチ入力があります。  
(p26～27参照)

#### ⑫CONTROL INPUT

本体を外部より制御 (RS-232C) するとき接続します。  
(p24参照)

#### ⑬CONTROL OUTPUT

外部接続機器をRS-232Cにて制御します。  
(p23参照)

#### ⑭REMOTE UNIT

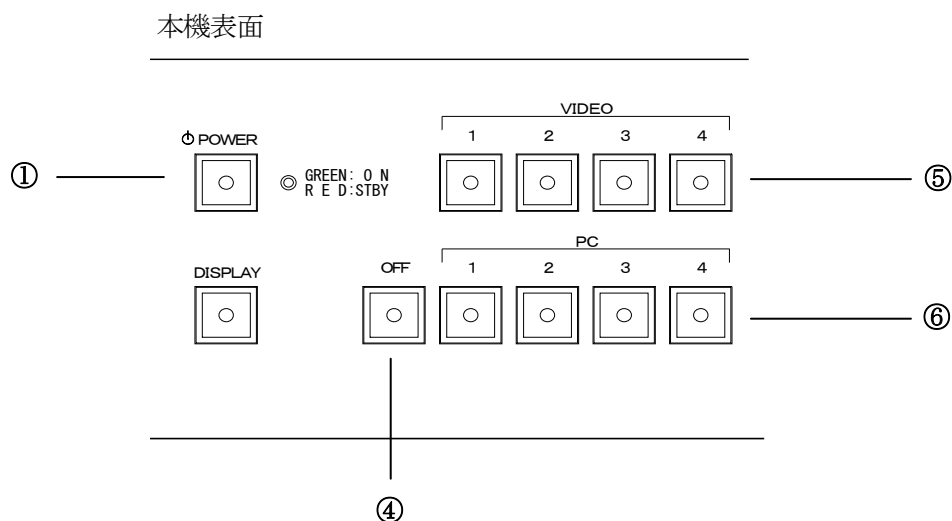
リモートユニット「RC-3851」  
点入力変換器「CB-3851」 } 接続用です。  
(p25参照)

#### ⑮POWER CONT. OUTPUT

電源コントローラ制御用接点出力端子台です。  
(p26参照)

## 3. 操作方法

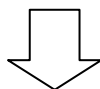
### 3-1. パワーON/スタンバイと映像選択操作



#### 基本操作手順

##### <本機のON>

- ①POWERスイッチをONします。
  - ・POWER表示LEDは緑点灯
  - ・映像選択スイッチ、ボリューム操作が有効になります。



##### <映像・音声の選択操作>

- ・ビデオ映像・音声の選択時 ⇒ ⑤VIDEO1～4の任意映像を選択します。
- ・PC映像・音声の選択時 ⇒ ⑥PC選択1～4の任意映像を選択します。
- ・映像・音声の一時OFF ⇒ ④映像/音声OFFを選択します。

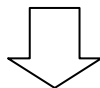
※OFF選択スイッチ解除方法は、**設定番号4.3**(p17参照)の設定状態により変わります。

##### ■OFF選択中の映像選択LEDは点灯設定時

- ・点灯中のOFFスイッチを押すか、他の映像を選択することで解除

##### □ OFF選択中の映像選択LEDは消灯設定時

- ・他の映像を選択することで解除



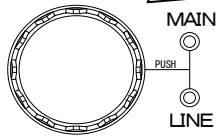
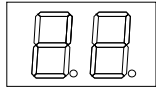
##### <本機のスタンバイ>

- ①POWERスイッチをOFFします。
  - ・POWER表示LEDは**設定番号11.3**(p20参照)の設定状態に基づき動作します。

### 3. 操作方法

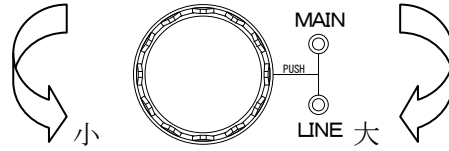
#### 3-2. 多目的ダイヤル (ボリューム) 操作

本機表面

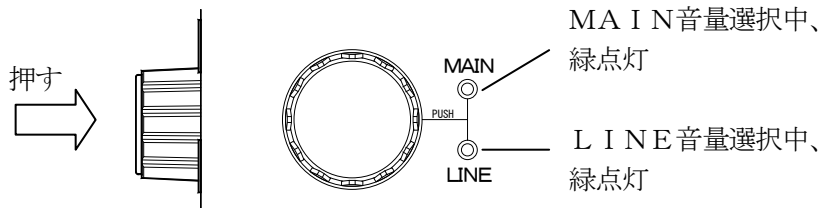


(1) パワーON状態でのみ操作が有効です。

(2) 多目的ダイヤルを左右に回すことで音量調整ができます。



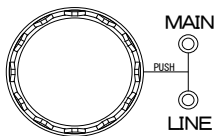
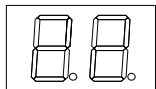
(3) 多目的ダイヤルを押す毎に、MAIN音量 (選択出力音声) と LINE音量が切替わります。



(4) LINE音量操作後、約5秒でMAIN音量操作に切替わります。

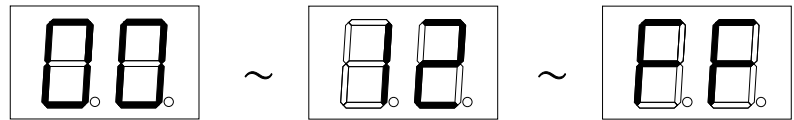
(5) 多目的ダイヤルを長押し (約10秒) すると、LINE音声の BASS/TREBLE調整ができます。

本機表面



(1) 状態表示ディスプレイのボリュームレベル表示

ボリューム最小表示    ボリュームレベル表示    ボリューム最大表示

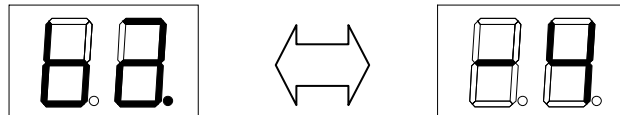


ボリューム表示範囲    00~31、FF

(2) LINE音声のBASS/TREBLE調整時の表示

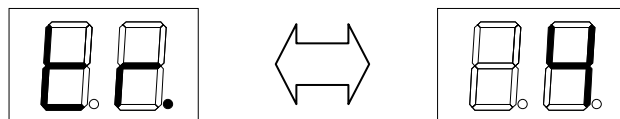
BASS調整 (b a)

-調整での最大表示



TREBLE調整 (t r)

+調整での最大表示



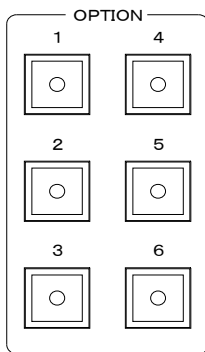
約2秒間隔で文字とレベル表示が切替わります。

BASS/TREBLE調整範囲    -4~0~4    ±10dB

## 3. 操作方法

### 3-3. オプションスイッチ操作

本機表面



(1) OPTION1～6は、スタンバイ時でも操作できます。

(2) 接点出力のため、多目的に使用できます。

(使用例)

電動スクリーンの“昇”“停止”“降”操作

電動カーテンの“開”“停止”“閉”の操作

照明のON/OFF、その他接点出力で制御できる機器

注意：オープンコレクタ仕様となっているため、直接接続する場合、電流・電圧の制限があります。制御する機器の仕様をご確認ください。

最大電流 : 50mA

電圧入力範囲 : 5 ～ 24V DC

また、OPB-3801を別途接続することで上記仕様を拡張できます。(リレー出力 24VDC 500mAまで)

(3) 設定により外部接続機器のON/OFFと連動し

OPTIONスイッチを連動させることができます。

(カスタムソフト搭載時) 設定番号3.1、3.2 (p17参照)

連動時の接点ショート時間は、500msです。

外部接続機器のON連動 ⇒ OPTIONスイッチ3、6

外部接続機器のOFF連動 ⇒ OPTIONスイッチ1、4

(4) 設定により個別でモーメンタリー/オルタネートの選択ができます。

設定番号10.1～4、11.1～2 (p20参照)

(5) 接点出力は、オプションコネクタより接点を出力します。

注意：メイン電源を切ると、全てのスイッチ出力はオープンになります

オプションボックス (外付け) OPB-3801を使用する場合は、取説を参照ください。

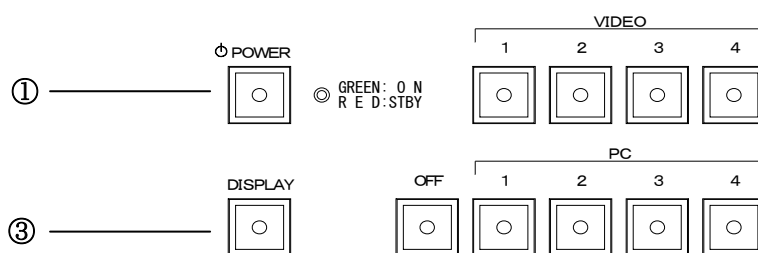
アプリケーションは次の通りです。

(1) (株)ケイアイシー、(株)オーエス、(株)キクチ科学研究所、(株)共栄商事の電動スクリーン制御

(2) トーソー(株)の電動カーテン制御

## 3. 操作方法

### 3-4. カスタムソフト搭載時の操作



#### 操作方法

##### <本機のON>

- ①POWERスイッチを1秒以上長押ししONします。  
・映像選択、ボリュームの操作は設定番号4.4 (p17参照) の設定状態に基づき動作します。



##### <プロジェクト等外部接続機器のON>

- ③DISPLAYスイッチをONします。  
・ON直後は、直ぐにOFFできない時間があります。(OFF禁止時間)  
OFF禁止時間中は、設定番号11.4 (p20参照) の設定にて、DISPLAYスイッチのLEDを点滅させることができます。



##### <プロジェクト等外部接続機器のOFF>

- ③DISPLAYスイッチをOFF (LED点滅→消灯) します。  
・LEDの点滅中は、外部接続機器のクーリング状態を示します。クーリング中は外部接続機器をONにすることはできません。



##### <本機のOFF (スタンバイ)>

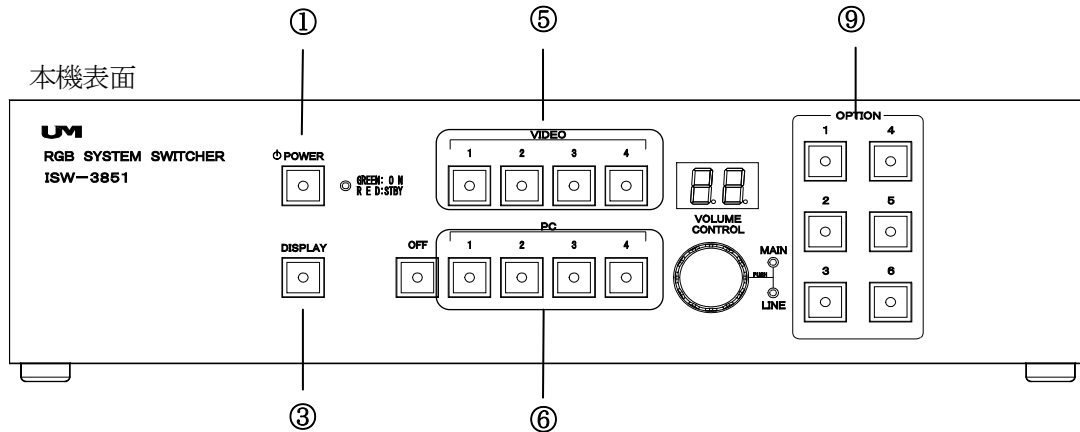
- ①POWERスイッチを1秒以上長押ししスタンバイにします。  
・DISPLAYスイッチがON中でも連動してOFFできます。  
・DISPLAYスイッチのLEDが点滅中でもOFFできます。このとき、LEDの点滅はPOWERスイッチに移行しクーリングが終了するまで点滅しています。  
・LED点滅中は本機をONすることはできません。

※本機の設定状態で、操作内容が変わることがあります。



# 3. 操作方法

## 3-5. スイッチ操作と連動する制御内容



スイッチ操作連動動作表

番号	操作スイッチ	LED 状況	本機状態	POWER CONT. OUTPUT	外部接続機器	⑨OPTION 1~6
①	POWER	消灯	スタンバイ	オープン	-	任意操作可
		点滅 ※2	外部接続機器 クーリング表示	オープン /ショート ※1	クーリング中	
		点灯	パワーON	ショート	-	
③	DISPLAY	消灯	外部接続機器 パワーOFF		パワーOFF	任意操作 /連動動作 ※4
		点滅 ※3	外部接続機器 クーリング表示 /OFF 禁止時間		クーリング中 /OFF 禁止時間	
		点灯	外部接続機器 パワーON		パワーON	
⑤	VIDEO 1~4	消灯	選択なし		-	任意操作可
		点灯	ビデオ映像選択		VIDEO 入力に切替	
⑥	PC 1~4	消灯	選択なし	-	任意操作可	
		点灯	PC映像選択	PC入力に切替		

※1 リレー接点オープンのタイミング（クーリング開始直後/クーリング後）を設定により選択できます。

設定番号3.3 (p17参照)

※2 DISPLAYスイッチが点滅中POWERスイッチを押すと点滅がPOWERスイッチに移行します。

※3 設定によりOFF禁止時間中もLEDを点滅させることができます。設定番号11.4 (p20参照)

※4 設定によりDISPLAYスイッチのON/OFFのタイミングでオプションスイッチ1, 3/4, 6連動することができます。設定番号3.1、3.2 (p17参照)

## 4. 設定方法

### 4-1. 本機設定一覧

#### (1) 本機動作・操作に関する設定

設定項目	設定番号	記載ページ	カスタムソフト
キースイッチの使用	4.1	p17	×
OFFスイッチ選択中の映像選択LED状態	4.3	p17	×
本体スイッチ/ボリュームのロック	3.4	p17	×
オプションスイッチ仕様	10.1~4、11.1~2	p20	×
スタンバイ時のPOWER LED状態	11.3	p20	×
OFF禁止時間中のDISPLAYスイッチLED状態	11.4	p20	○
外部接続機器ON後に映像選択/メインボリュームを有効	4.4	p17	○
外部接続機器OFF連動でOFFスイッチ選択	7.3	p18	○

#### (2) パワーON時の状態に関する設定

設定内容	設定番号	記載ページ	カスタムソフト
パワーON時の映像選択	4.2、5.1~4、6.1~4	p17~18	×
パワーON時のOFFスイッチ選択	7.2	p18	×
パワーON時のメイン/ライン音量値設定	7.4、8.1、9.1	p18~19	×
スタンバイモードの選択	1.2	p16	×
パワーON/OFF連動で外部接続機器のON/OFF	1.3	p16	○

#### (3) LINE入力に関する設定

設定内容	設定番号	記載ページ	カスタムソフト
OFFスイッチ選択中のLINE音声OFF	1.4	p16	×
LINE入力アッテネータ切替	7.1	p18	×

#### (4) 外部機器の制御に関する設定

設定内容	設定番号	記載ページ	カスタムソフト
外部接続機器制御の有無選択	1.1	p16	○
電源コントローラのOFFタイミング	3.3	p17	○
外部接続機器ON/OFFでのオプションスイッチ連動	3.1、3.2	p17	○
映像入力選択コマンド変更	2.1、2.2、	p16	○

#### (5) スキャンコンバータ使用時の設定

設定内容	設定番号	記載ページ	カスタムソフト
アップコンバータ接続設定	2.3	p16	×
ダウンコンバータ接続設定	2.4	p16	×

—カスタムソフトの表記—

○・・・カスタムソフト搭載時のみ有効な設定

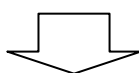
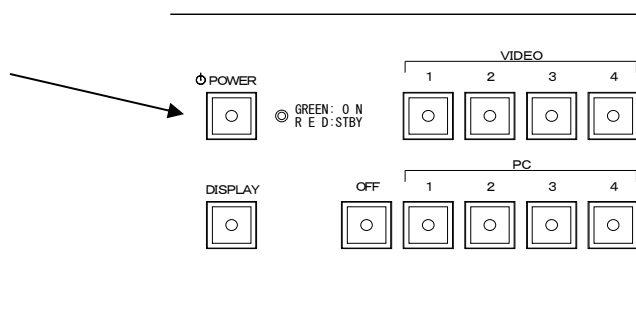
×・・・カスタムソフトの有無問わず有効な設定

## 4. 設定方法

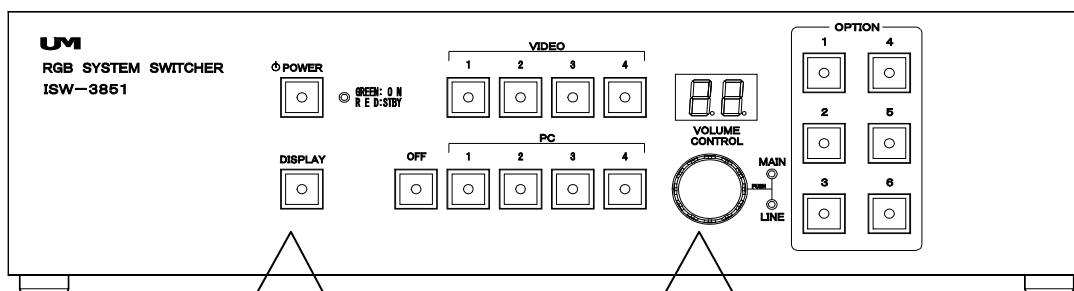
### 4-2. 設定変更操作方法

<本機のOFF（スタンバイ）>

(1) 本機を1秒以上長押しし  
スタンバイにします。



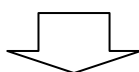
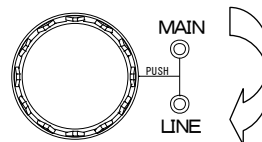
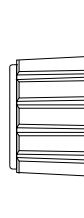
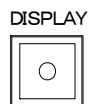
<DISPLAYスイッチと多目的ダイヤル操作>



(2) DISPLAYスイッチを押しながら、多目的ダイヤルを2秒以上押し込み、  
1/4以上時計回りに回転させます。

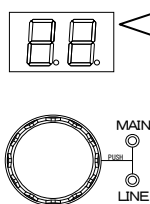
2秒以上  
押しながら

1/4以上回転させる

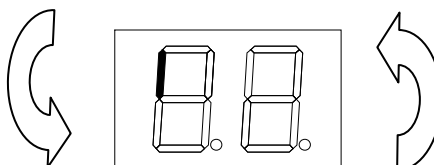


## 4. 設定方法

### <設定モード表示>



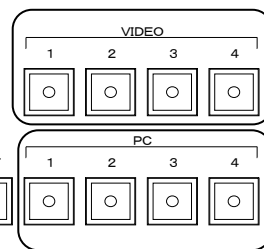
(3) 状態表示ディスプレイが下記になれば設定モードです。



点灯箇所が外側を周回します。

### <設定変更の操作>

(4) POWERスイッチを押す毎にVIDEOスイッチLEDの点灯位置が変わります。



(5) VIDEO1～4のスイッチの点灯箇所が、グループ設定となります。

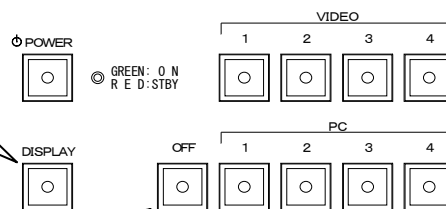
(6) PC1～4のスイッチを押す毎で設定が変わります。LEDの消灯/点灯で設定の状態を区分します。

※グループ設定と設定有無スイッチの関係は、4-3項設定詳細 (p16～20) をご参照下さい。

### <設定変更の保存/キャンセルと設定モードの終了>

#### <変更内容の保存 → 設定モード終了>

(7) DISPLAYスイッチを2秒以上長押しすると、変更した内容が保存され、設定モードが終了します。



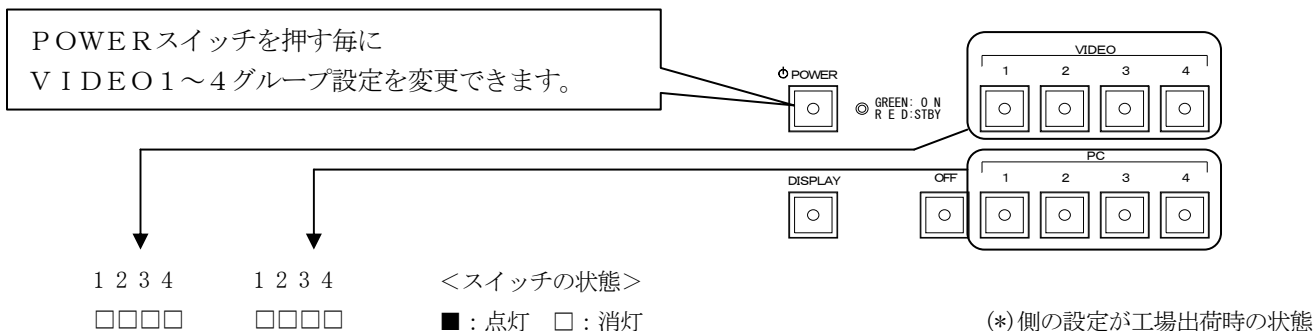
#### <変更内容のキャンセル → 設定モード終了>

(8) OFFスイッチを2秒以上長押しすると、変更した内容がキャンセルされ、以前の設定状態に戻り、設定モードが終了します。

(9) 設定モードが終了すると、スタンバイ状態に戻ります。

## 4. 設定方法

### 4-3. 設定詳細



設定番号	VIDEOスイッチ位置 (グループ設定)	PCスイッチ位置 (設定スイッチ)	設定機能説明	設定状態
<u>1.1</u>	□□□□	■□□□	外部接続機器の制御有無の選択です。	(*) ■制御無効 (*) □制御有効
1.2		□■□□	電源 (AC100V) 投入時の状態選択です。	(*) ■スタンバイで起動 □パワーONで起動
<u>1.3</u>		□□■□	POWERスイッチON/OFFと連動して、外部接続機器をON/OFFします。	(*) ■ON連動しない □ON連動する
1.4		□□□■	OFFスイッチ選択中のLINE音声を消音/拡声の選択です。	(*) ■LINE音声を拡声する □LINE音声を消音する
<u>2.1</u>	□□□■	■□□□	RGBコマンドの選択です。 外部接続機器により選択できない場合や名称が異なります。	(*) ■RGB 1 □RGB 2
<u>2.2</u>		□■□□	VIDEOコマンドの選択です。 外部接続機器により選択できない場合や名称が異なります。	(*) ■VIDEO 1 □VIDEO 2
2.3		□□■□	アップコンバータ接続の有無選択です。 アップコンバータのPC入力は、 <b>PC 4</b> です。 接続を有効にした場合、 <b>PC 4</b> の選択はできません。	(*) ■アップコンバータの接続無し □アップコンバータの接続有り
2.4		□□□■	ダウンコンバータ接続の有無選択です。 ダウンコンバータのVIDEO入力は <b>VIDEO 4</b> です。接続を有効にした場合、 <b>VIDEO 4</b> の選択はできません。	(*) ■ダウンコンバータの接続無し □ダウンコンバータの接続有り

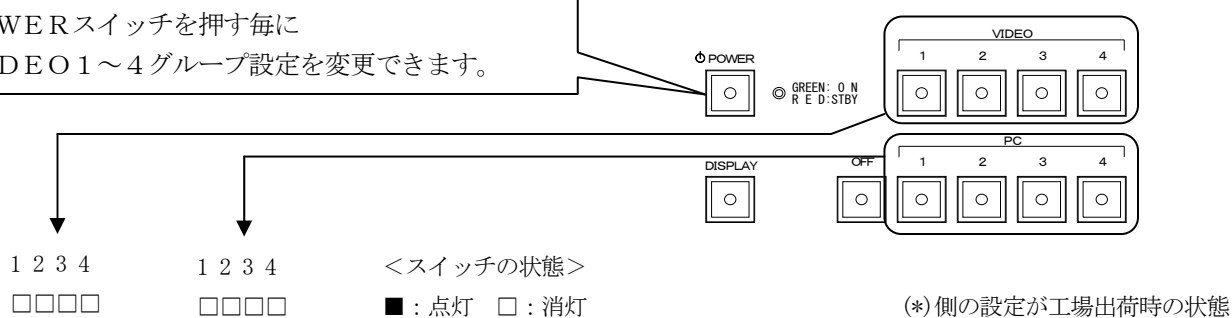
\*1 カスタムソフト未搭載時の工場出荷状態

\*2 カスタムソフト搭載時の工場出荷状態

※ 設定番号に下線ある設定はカスタムソフト搭載機器のみ有効です。

## 4. 設定方法

POWERスイッチを押す毎に  
VIDEO 1～4 グループ設定を変更できます。

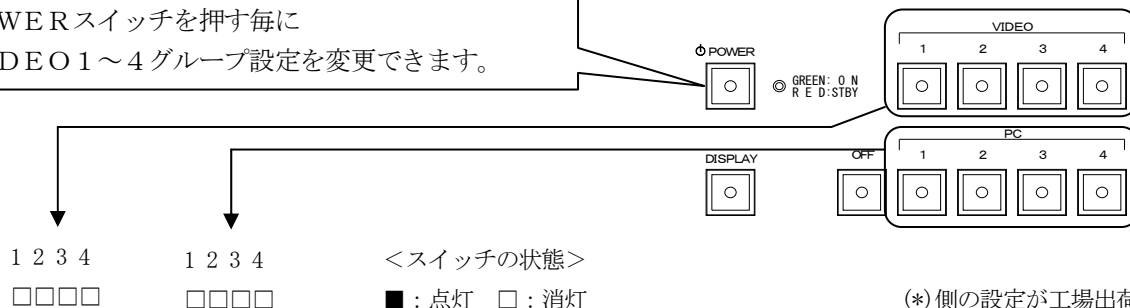


設定番号	VIDEOスイッチ位置 (グループ設定)	PCスイッチ位置 (設定スイッチ)	設定機能説明	設定状態
3.1	□□■□	■□□□	外部接続機器のON/OFFでオプション スイッチ3、1の連動選択です。 接点ショート時間は500msです。	(*) ■連動しない □連動する
3.2		□■□□	外部接続機器のON/OFFでオプション スイッチ6、4の連動選択です。 接点ショート時間は500msです。	(*) ■連動しない □連動する
3.3		□□■□	電源コントローラのOFFタイミ ング設定です。	(*) ■クーリング終了後にOFF □クーリング開始直後にOFF
3.4		□□□■	本体スイッチ/ボリューム操作を ロックする設定です。スタン バイ状態からの設定変更操 作は有効です。	(*) ■本体からの操作を許可 □本体からの操作を禁止
4.1	□□■□	■□□□	キースwitchの使用選択です。 キースwitchを使用する場合、 POWERスイッチからのパワ ーON/スタンバイ操作は できません。	(*) ■使用しない □使用する
4.2		□■□□	パワーON時の入力選択の指 定です。ラストメモリー設 定時は、 <u>設定番号5.1～4</u> 、 <u>6.1～4</u> の設定が無視され ます。	(*) ■ラストメモリー □指定映像 <u>設定番号5.1～4</u> 、 <u>6.1～4</u> で 指定映像を選択します。
4.3		□□■□	OFFスイッチ選択中の映像 選択スイッチのLEDを消 灯/点灯にする選択です。	(*) ■OFF選択中は点灯 □OFF選択中は消灯
4.4		□□□■	外部接続機器をONで映像 選択とメインボリューム操 作を有効にする設定です。 パワーON時はライン音声 ボリューム/オプションス witchの操作が有効です。	(*) ■パワーONのみで選 択操作有効 □外部機器接続ONで 映像選択とメインボ リュームが操作有効

※ 設定番号に下線ある設定はカスタムソフト搭載機器のみ有効です。

## 4. 設定方法

POWERスイッチを押す毎に  
VIDEO 1～4グループ設定を変更できます。



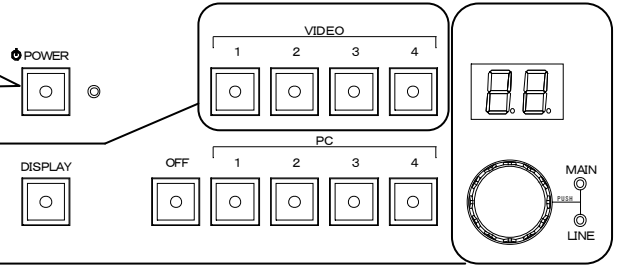
設定番号	VIDEOスイッチ位置 (グループ設定)	PCスイッチ位置 (設定スイッチ)	設定機能説明	設定状態
5.1	□■□□	■□□□	設定番号4.2の設定が“指定映像”を選択している場合パワーON時にPC 1を選択します。	■PC 1を選択
5.2		□■□□	設定番号4.2の設定が“指定映像”を選択している場合パワーON時にPC 2を選択します。	■PC 2を選択
5.3		□□■□	設定番号4.2の設定が“指定映像”を選択している場合パワーON時にPC 3を選択します。	■PC 3を選択
5.4		□□□■	設定番号4.2の設定が“指定映像”を選択している場合パワーON時にPC 4を選択します。	■PC 4を選択
6.1	□■□■	■□□□	設定番号4.2の設定が“指定映像”を選択している場合パワーON時にVIDEO 1を選択します。	(*)■VIDEO 1を選択
6.2		□■□□	設定番号4.2の設定が“指定映像”を選択している場合パワーON時にVIDEO 2を選択します。	■VIDEO 2を選択
6.3		□□■□	設定番号4.2の設定が“指定映像”を選択している場合パワーON時にVIDEO 3を選択します。	■VIDEO 3を選択
6.4		□□□■	設定番号4.2の設定が“指定映像”を選択している場合パワーON時にVIDEO 4を選択します。	■VIDEO 4を選択
7.1	□■□□	■□□□	ライン入力アッテネータ設定 -10/0 dBの選択です。	(*)■ 0 dB □ -10 dB
7.2		□■□□	パワーONの連動でOFFスイッチを選択する設定です。 OFFスイッチ選択する設定時は、 設定番号4.2の設定が無視されパワーON時にOFFスイッチが選択されます。	(*)■OFFスイッチを選択しない □OFFスイッチを選択する
7.3		□□■□	外部接続機器のOFFと連動し OFFスイッチが選択されます。	(*)■OFFスイッチを選択しない □OFFスイッチを選択する
7.4		□□□■	パワーオン時の音量値をラストメモリー状態にするか、指定値にするかの選択です。 ラストメモリー設定時は、 <u>設定番号8.1、9.1</u> の設定が無視されラストメモリーになります。	(*)■ラストメモリー □規定値 <u>設定番号8.1、9.1</u> で指定値を設定

何れか1つの設定スイッチが選択されます。

※ 設定番号に下線ある設定はカスタムソフト搭載機器のみ有効です。

## 4. 設定方法

POWERスイッチを押す毎に  
VIDEO 1～4 グループ設定を変更できます。



1 2 3 4  
□ □ □ □

<スイッチの状態>

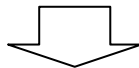
■ : 点灯 □ : 消灯

(\* )側の設定が工場出荷時の状態

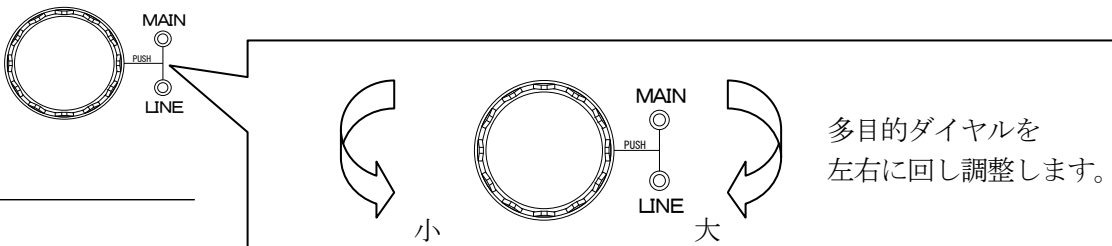
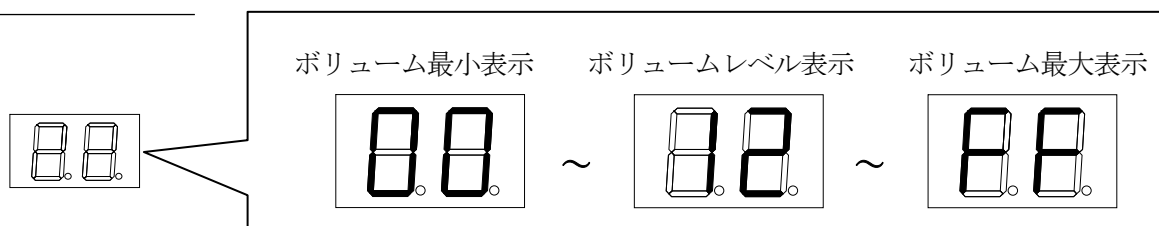
設定番号	VIDEOスイッチ位置 (グループ設定)	PCスイッチ位置 (設定スイッチ)	設定機能説明	設定状態
8.1	□ ■ ■ ■	〃 - 操作 で設定	パワーオン時のメイン音量値の設定です。 設定番号7.4が“規定値”“選択している 場合に設定したボリューム値にて起動します。	ボリュームレベル 0～FFで設定 (* ) 00
9.1	■ □ □ □	〃 - 操作 で設定	パワーオン時のライン音量値の設定です。 設定番号7.4が“規定値”“を選択している場合 に設定したボリューム値にて起動します。	ボリュームレベル 0～FFで設定 (* ) 00

<メイン/ライン音量 設定番号8.1、9.1の指定音量の設定操作>

(1) グループ設定を **設定番号8.1 (メイン音量)**、**9.1 (ライン音量)** の状態に合わせます。



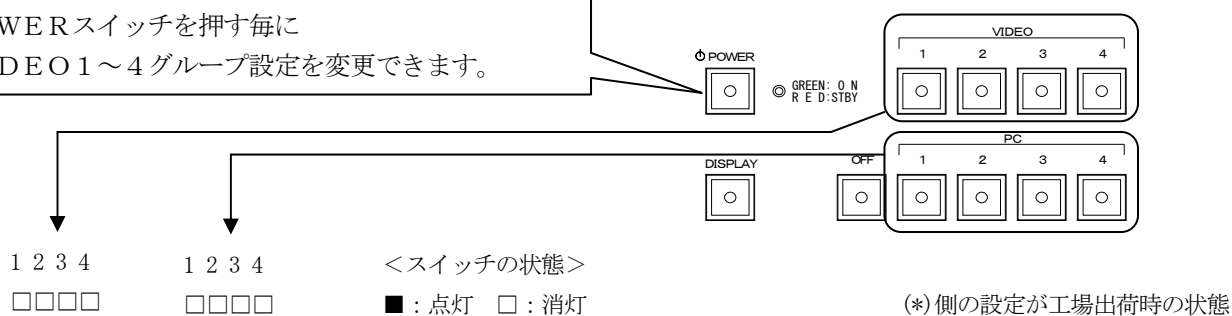
(2) 多目的ダイヤルを左右に回しパワーON時の音量値を決めます。





## 4. 機器設定方法

POWERスイッチを押す毎に  
VIDEO 1～4グループ設定を変更できます。



設定番号	VIDEOスイッチ位置 (グループ設定)	PCスイッチ位置 (設定スイッチ)	設定機能説明	設定状態
10.1	■□□■	■□□□	オプションスイッチ1の動作仕様です。 モーメンタリー/オルタネートの選択	(*) ■モーメンタリー □オルタネート
10.2	□■□□	□■□□	オプションスイッチ2の動作仕様です。 モーメンタリー/オルタネートの選択	(*) ■モーメンタリー □オルタネート
10.3	□□■□	□□■□	オプションスイッチ3の動作仕様です。 モーメンタリー/オルタネートの選択	(*) ■モーメンタリー □オルタネート
10.4	□□□■	□□□■	オプションスイッチ4の動作仕様です。 モーメンタリー/オルタネートの選択	(*) ■モーメンタリー □オルタネート
11.1	■□■□	■□□□	オプションスイッチ5の動作仕様です。 モーメンタリー/オルタネートの選択	(*) ■モーメンタリー □オルタネート
11.2	□■□□	□■□□	オプションスイッチ6の動作仕様です。 モーメンタリー/オルタネートの選択	(*) ■モーメンタリー □オルタネート
11.3	□□■□	□□■□	スタンバイ時のPOWER LEDを 赤点灯/消灯の選択	(*) ■赤点灯 □消灯
<u>11.4</u>	□□□■	□□□■	OFF禁止時間中にDISPLAYスイッチの LEDを点灯/点滅の選択	(*) ■点灯 □点滅

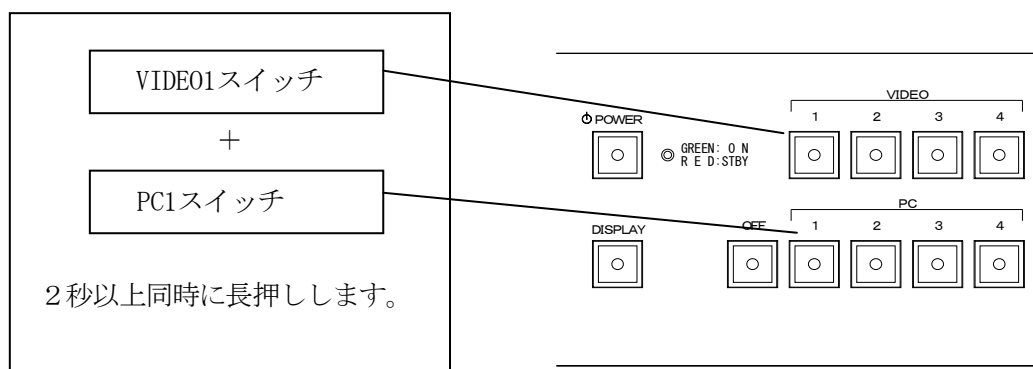
※ 設定番号に下線ある設定はカスタムソフト搭載機器のみ有効です。

## 4. 設定方法

### 4-4. 本体スイッチ/ボリュームのロック一時解除

本体スイッチ/ボリュームのロック中でパワーON状態の時、本体操作よりロックを一時解除し、設定を変更する場合の操作です。

<本体ロックを一時解除する。>



本機のロックが一時的に解除されます。POWERスイッチにて本機をスタンバイにします。

本機がスタンバイになると再び本機にロックがかかりますが、設定の変更操作はできます。設定変更操作は、4-2項設定変更操作方法 (p14~15) をご覧ください。

ロックを解除して終了した場合

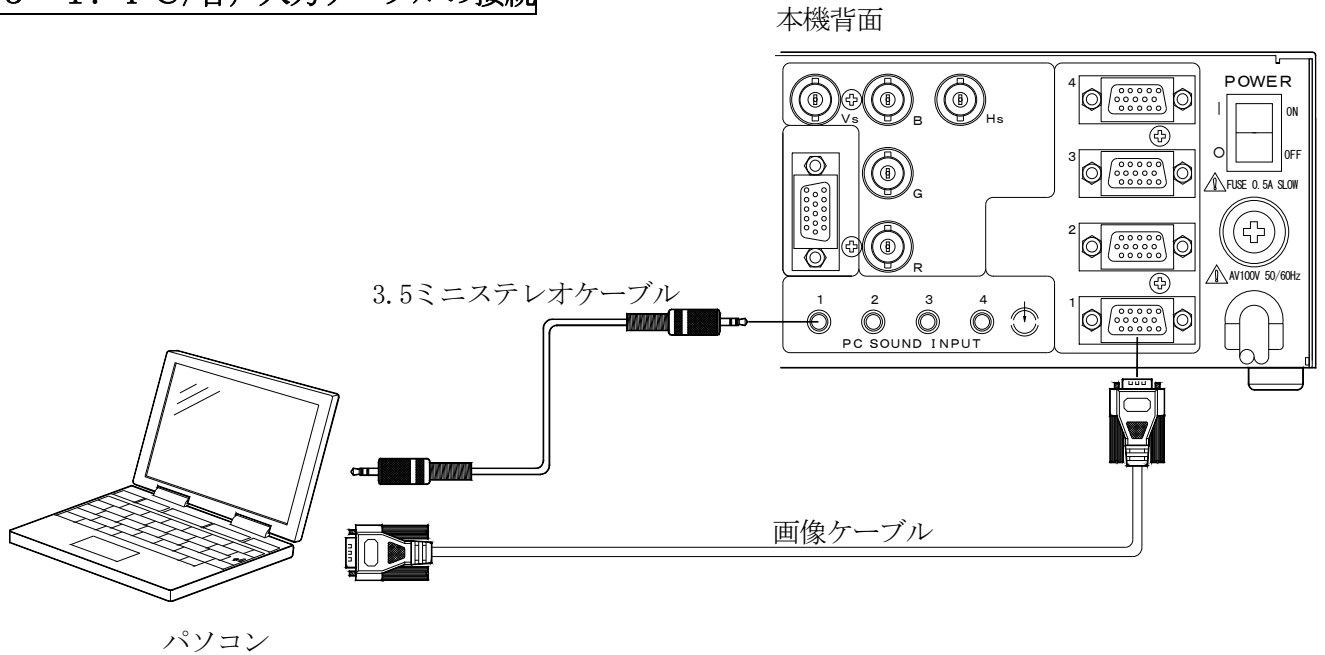
ロックが解除され、本体操作ができるようになります。

ロックを保持して終了した場合

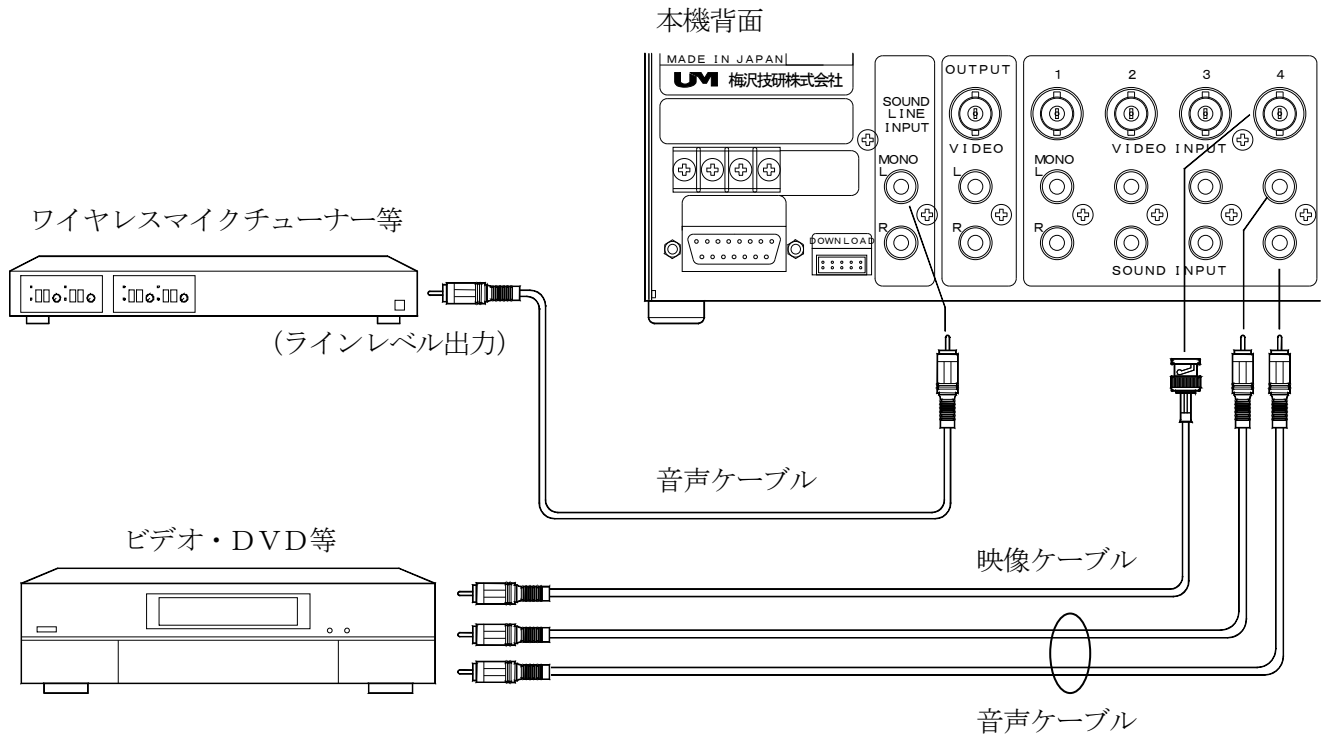
設定終了後、スタンバイ状態で再びロックします。

## 5. ケーブルの接続

### 5-1. PC/音声入力ケーブルの接続

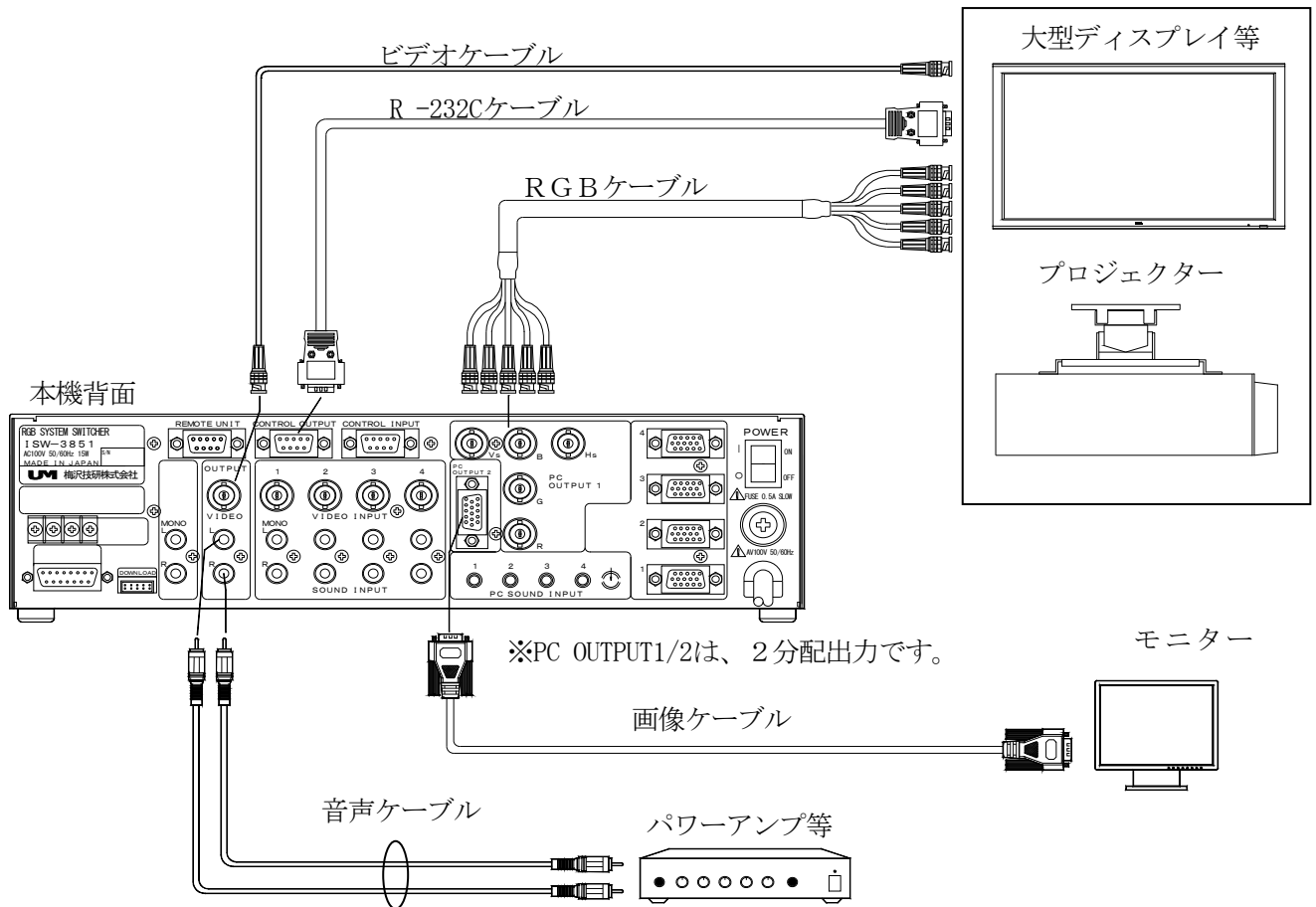


### 5-2. ビデオ映像/音声/ライン入力のケーブルの接続



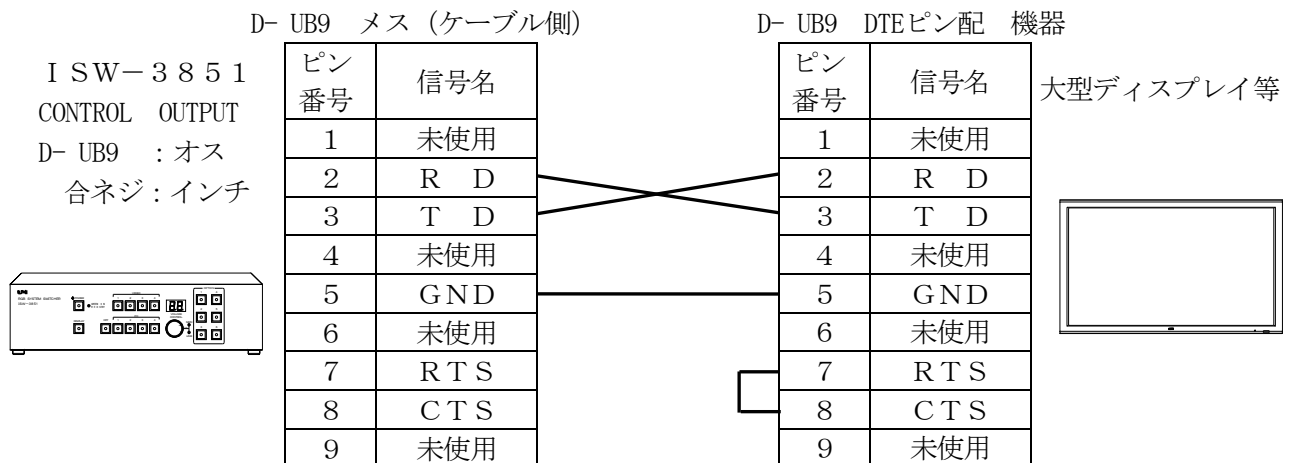
## 5. ケーブルの接続

### 5-3. PC出力/ビデオ映像出力/音声出力/R-232C出力ケーブルの接続



#### <CONTROL OUTPUT 外部接続機器 (DTEピン) 間 R-232Cケーブル結線例>

・R-232Cピン配 がパソコンと同じ機器 (DTEピン配 ) を接続する場合の結線例です。



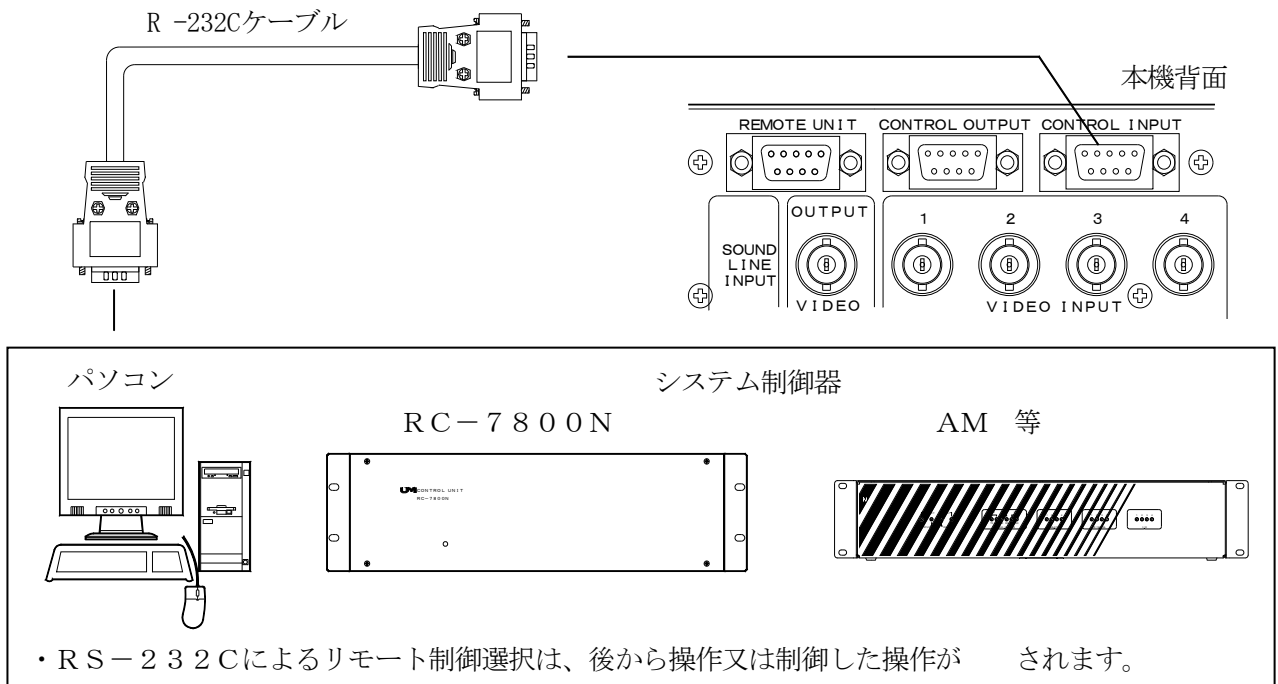
注意：接続ケーブルは、外部接続機器の仕様をご確認ください。

注意：ISW-3851のRTS/CTSは、内部でショートしています。

注意：カスタムソフトを搭載した製品のみ制御できます。制御できる内容は、3-5項スイッチ操作と連動する制御内容 (p12) をご覧ください。

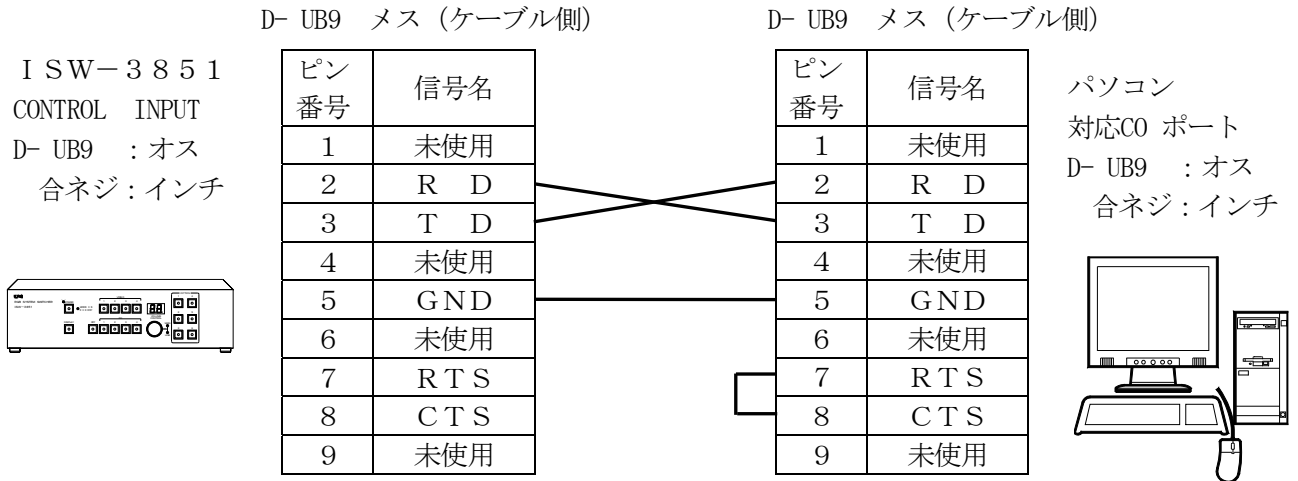
## 5. ケーブルの接続

### 5-4. R-232Cで本機を制御する時の接続



### <CONTROL INPUT パソコン間 R-232Cケーブル結線例>

・R-232Cピン配 がパソコンと同じ機器 (DTEピン配 ) を接続する場合の結線例です。



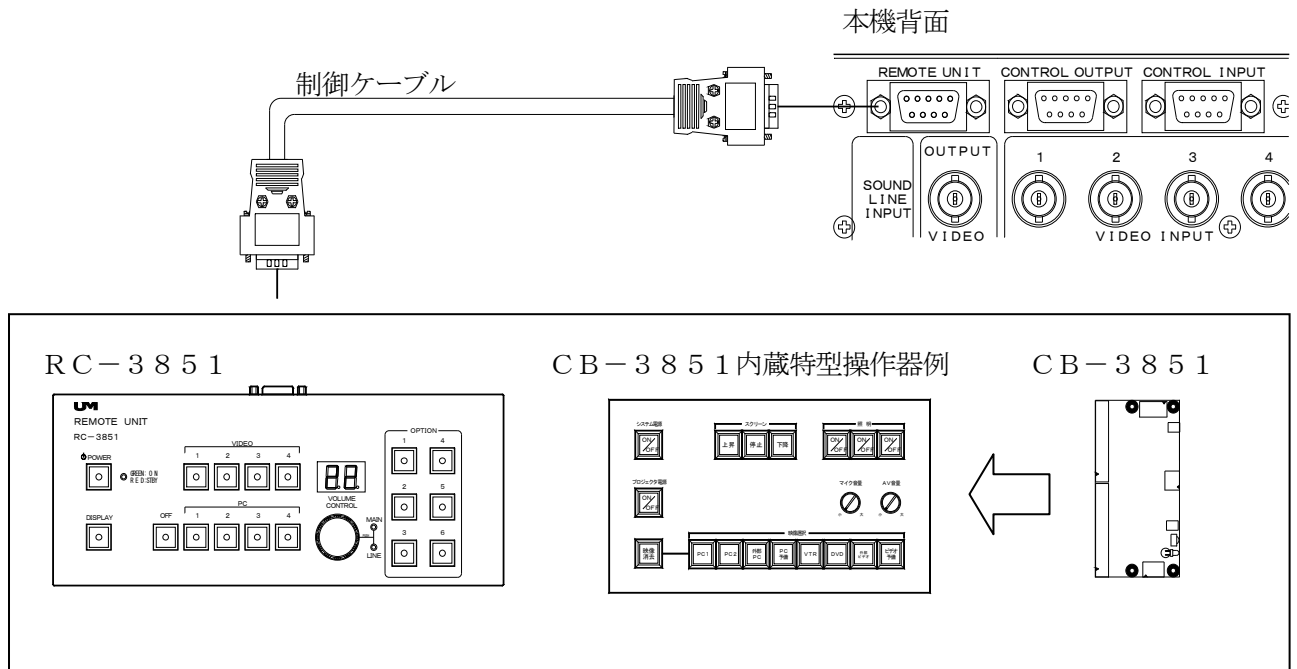
注意: 接続ケーブルは、機器の仕様をご確認下さい。

注意: I SW-3851のRTS/CTSは内部でショートしています。

制御方法は、10項RS-232Cコマンド表(p35)をご覧ください。

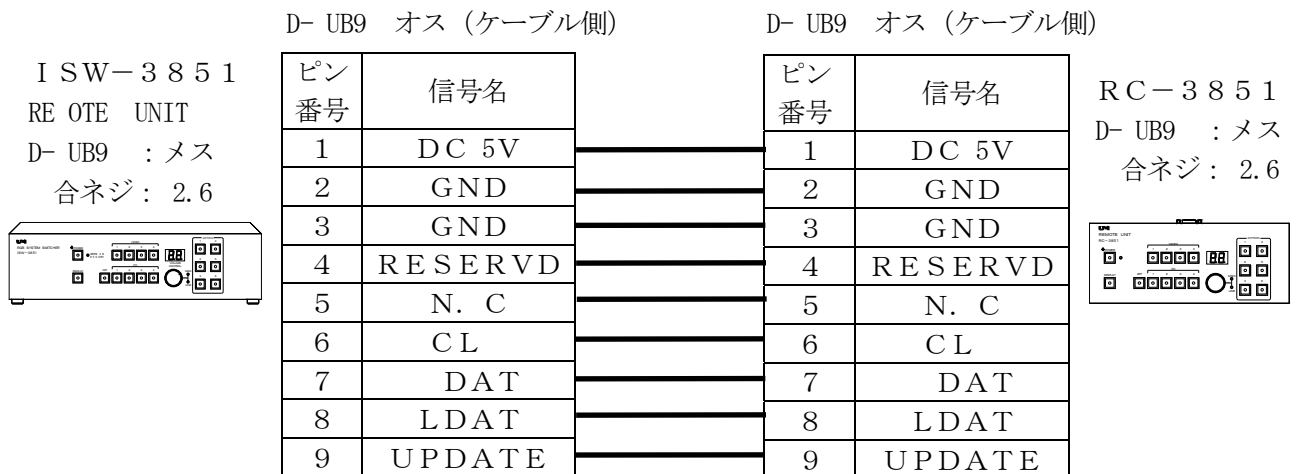
## 5. ケーブルの接続

### 5-5. 専用リモートユニット (RC-3851) / 特型操作器 (CB-3851) の接続



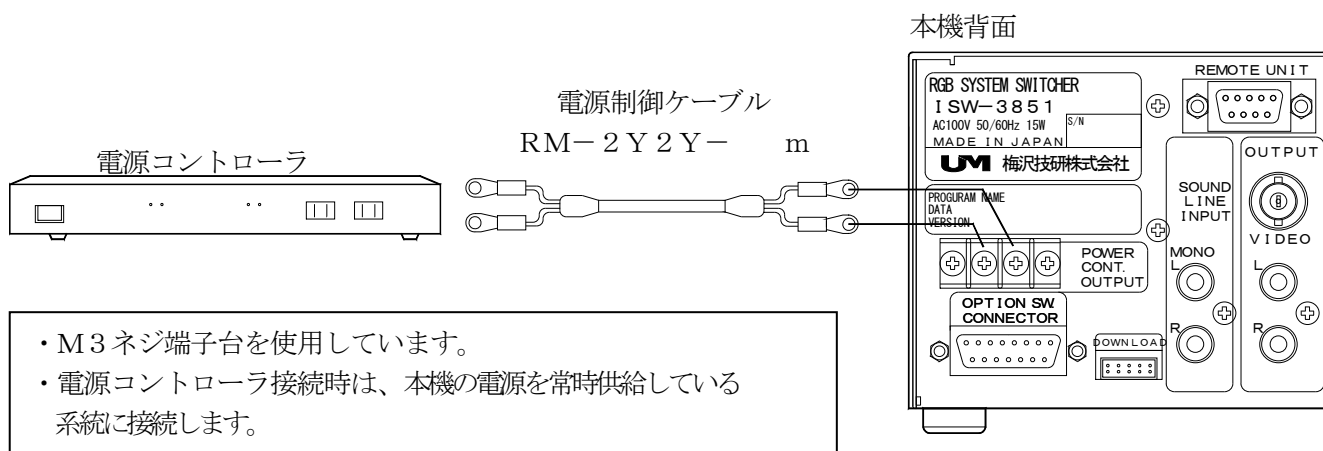
- ・専用リモートユニットを接続した場合、基本的に後から操作した内容が されます。
- ・専用リモートユニットの接続時は必ず本体の電源を OFF にし接続下さい。  
(正常動作ができなくなる場合があります。)

#### <REMOTE UNIT RC-3851/CB-3851 内蔵特型操作器間ケーブル結線>

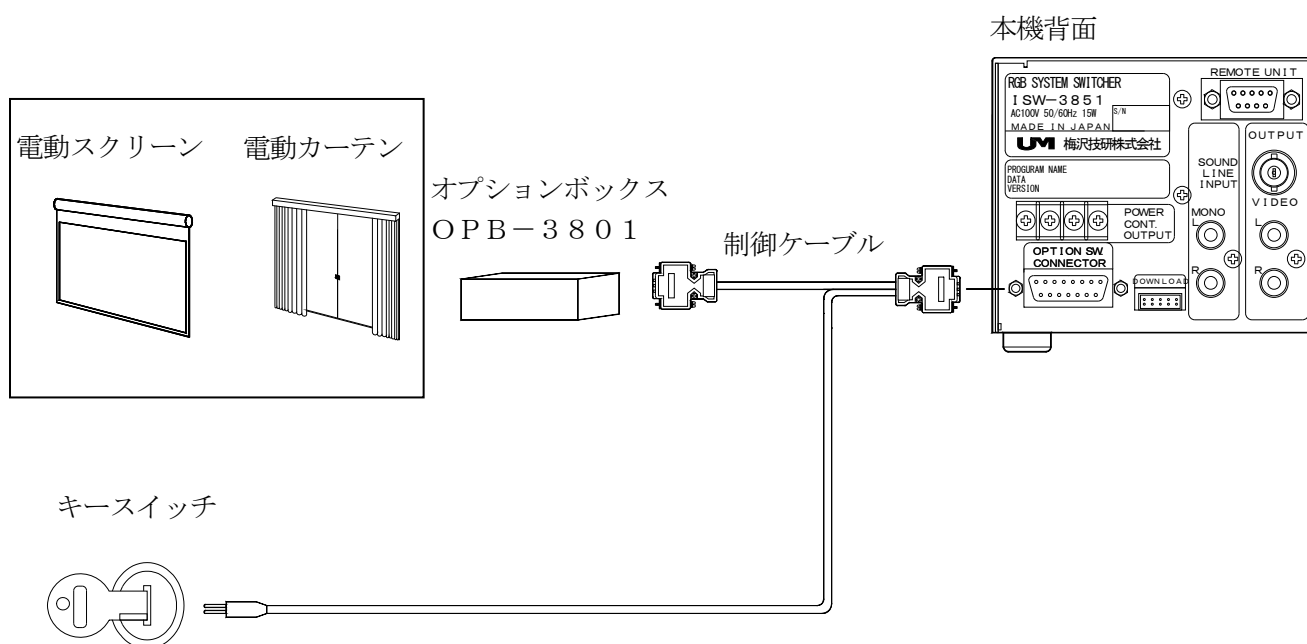


## 5. ケーブルの接続

### 5-6. 電源コントローラの接続



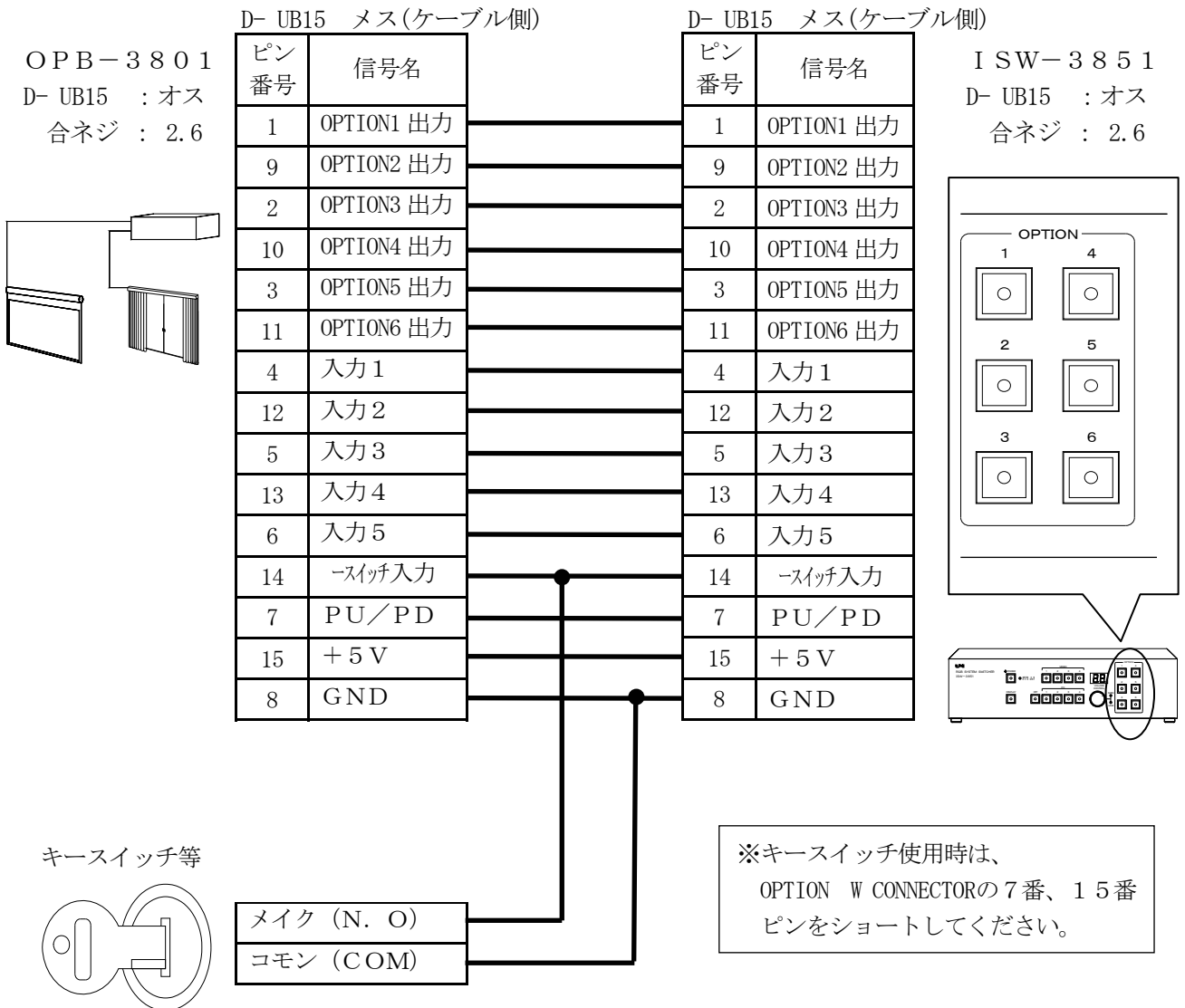
### 5-7. オプションスイッチ/キースイッチの接続



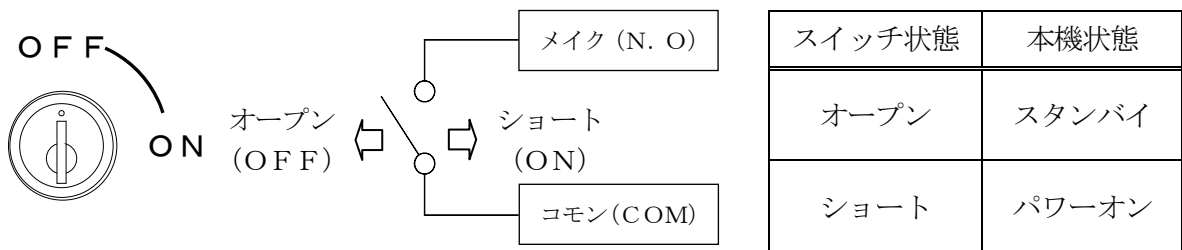
- ・キースイッチ利用時は、キースイッチ入力を有効にする設定が必要です。[設定番号4.1](#) (p17参照)
- ・オプションスイッチの操作詳細は、3-3項オプションスイッチ操作 (p10) をご覧ください。

## 5. ケーブルの接続

<OPB-3801/キースイッチ I W-3851 OPTION W CONNECTOR ケーブル結線>



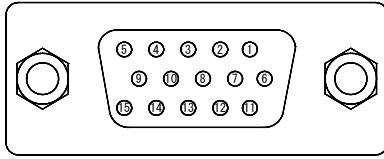
<キースイッチ等動作>





## 6. コネクタ仕様

### 6-1. PC映像入出力部

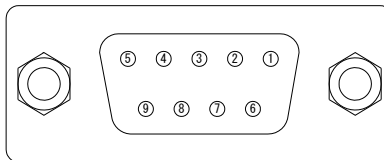


入出力共通

コネクタ：シュリンクDサブ15ピン メス  
合台：インチ

ピン番号	入力部	出力部
1	赤信号	赤信号
2	緑信号	緑信号
3	信号	信号
4	N. C	N. C
5	接地	接地
6	赤 接地	赤 接地
7	緑 接地	緑 接地
8	接地	接地
9	N. C	N. C
10	同期信号 接地	同期信号 接地
11	N. C	N. C
12	N. C	N. C
13	水 同期信号	水 同期信号
14	直同期信号	直同期信号
15	N. C	N. C

### 6-2. リモートユニット「RC-3851」、接点入力変換器「CB-3851」専用 (REMOTE UNIT)



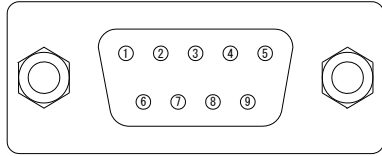
コネクタ：Dサブ9ピン メス  
合台：M2.6

ピン番号	信号	動作
1	電源	DC+5V 200mA出力
2	GND	信号グラウンド
3	GND	信号グラウンド
4	RESERVED	来対応
5	N. C	N. C
6	CL	クロック信号出力
7	DAT	キーデータ出力
8	L DAT	LEDデータ出力
9	UPDATE	制御信号出力

## 6. コネクタ仕様

### 6-3. 外部接続機器用RS-232Cコネクタ

(CONTROL OUTPUT)



コネクタ : Dサブ9ピン オス  
合台 : インチ

ピン番号	信号	動作
1	接続なし	
2	R D	RS-232C 受信入力
3	T D	RS-232C 送信出力
4	接続なし	
5	GND	信号グラウンド
6	接続なし	
7	RTS	RS-232C RTS出力
8	CTS	RS-232C CTS入力
9	接続なし	

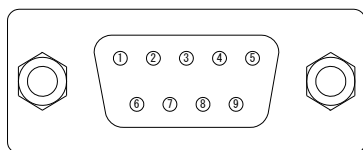
注意 : 本機のRTS/CTSは内部でショートしています。

### 6-4. RS-232C制御入力コネクタ

(CONTROL INPUT)

コネクタ仕様

<正面部>



コネクタ : Dサブ9ピン オス

合台 : インチ

ピン番号	信号	動作
1	接続なし	
2	R D	RS-232C 受信入力
3	T D	RS-232C 送信出力
4	接続なし	
5	GND	信号グラウンド
6	接続なし	
7	RTS	RS-232C RTS出力
8	CTS	RS-232C CTS入力
9	接続なし	

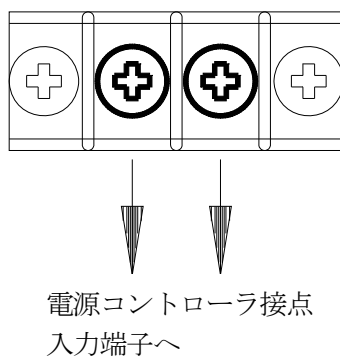
注意 : RTS/CTSは内部でショートしています。

## 6. コネクタ仕様

### 6-5. 電源コントローラ端子台

(POWER CONT. OUTPUT)

<正面図>



電源コントローラ接点  
入力端子へ

パワーMOSFET方式 フォトカプラ式メイク出力  
(オールオープン)

定格電流 : 最大50mA  
AC/DC 5~24Vまで制御可能

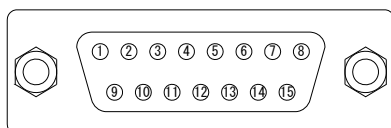
コネクタ : ネジ止め端子台  
(本機のシャーシGNDとは絶縁されています)

**注意 : AC100Vは絶対に接続しないこと。**

### 6-6. オプションスイッチ/キースイッチ入力コネクタ

(OPTION SW. CONNECTOR)

<正面部>



コネクタ : Dサブ15ピン オス  
合台 : M2.6mm

ピン番号	信号	動作
1	スイッチ1 出力	プッシュ出力 最大50 A DC24Vまで
9	スイッチ2 出力	プッシュ出力 最大50 A DC24Vまで
2	スイッチ3 出力	プッシュ出力 最大50 A DC24Vまで
10	スイッチ4 出力	プッシュ出力 最大50 A DC24Vまで
3	スイッチ5 出力	プッシュ出力 最大50 A DC24Vまで
11	スイッチ6 出力	プッシュ出力 最大50 A DC24Vまで
4	入力1	リザーブ 来対応用
12	入力2	リザーブ 来対応用
5	入力3	リザーブ 来対応用
13	入力4	リザーブ 来対応用
6	入力5	リザーブ 来対応用
14	入力6	スイッチ入力 付
7	PU/PD	リザーブ 来対応用
15	+5V	OPB-3801用電源 400 A最大
8	GND	GND/スイッチ入力

注意 : メイン電源を切ると、全てのスイッチ  
出力はオープンになります。

オプションボックス (外付け) OPB-3801を使用する場合は、取説を参照ください。  
アプリケーションは次の通りです。

- (1) ㈱ケイアイシー、㈱オーエス、㈱キクチ科学研究所、㈱共栄商事の電動スクリーン制御
- (2) トーソー㈱の電動カーテン制御

## 7. オプション

・オプションケーブル詳細等は、別途オプションケーブル仕様書参照してください。

### 7-1. インターフェイスケーブル/変換ケーブル/その他

項	品名	型式	規
1	VGAケーブル	UMC-VGA	シュリンクD15ピン 2m 1本
2	BNC用変換ケーブル	5MS-1.5C-S15-2m	BNC 2m 1本

### 7-2. 入出力画像信号ケーブル

項	品名	型名	規
1	画像信号ケーブル オスオスタイプ	UMC-S15S15-m-MM	シュリンクD15P MM オスオス m 長さ 5m 位
2	画像信号ケーブル オスメスタイプ	UMC-S15S15-m-MF	シュリンクD15P MF オスメス m 長さ 5m 位

### 7-3. リモートユニットケーブル (ISW-3851/RC-3851、CB-3851)

動作保証 : 最長50m

項	品名	型名	規
1	リモートユニット ケーブル	RM-IW-09-2m	Dサブ9ピン 2m
		RM-IW-09-5m	Dサブ9ピン 5m
		RM-IW-09-10m	Dサブ9ピン 10m

### 7-4. RS-232Cコントロールケーブル (ISW-3851/パソコン/外部接続機器等)

動作保証 : 最長20m

項	品名	型名	規
1	RS-232C コントロールケーブル	RM-0909-2m	Dサブ9ピン 2m
		RM-0909-5m	Dサブ9ピン 5m
		RM-0909-10m	Dサブ9ピン 10m

### 7-5. 電源コントローラケーブル (ISW-3851/電源コントローラ)

項	品名	型名	規
1	電源コントロール ケーブル	RM-2Y2Y-2m	型端子 2m
		RM-2Y2Y-5m	型端子 5m

## 7. オプション

### 7-6. 外部制御用RS-232Cコントロールケーブル

受注生産品

使用機種に合わせたケーブルを製作します。

### 7-7. 専用リモートユニット RC-3851

詳細仕様は、別「RC-3851」仕様書を参照してください。

### 7-8. 接点入力変換器 CB-3851

詳細仕様は、別「CB-3851」仕様書を参照してください。

### 7-9. オプションボックス OPB-3801

電動スクリーンの昇降と電動カーテンの開閉など。

(ご使用の際は、当社までお問い合わせください。)

### 7-10. ラックマウント金具 OP-3801

料：t2.0 SPCC

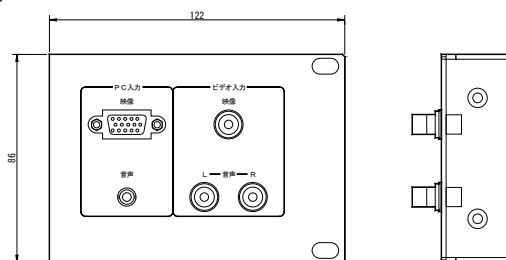
装：ライトグレー SG-2039

1個

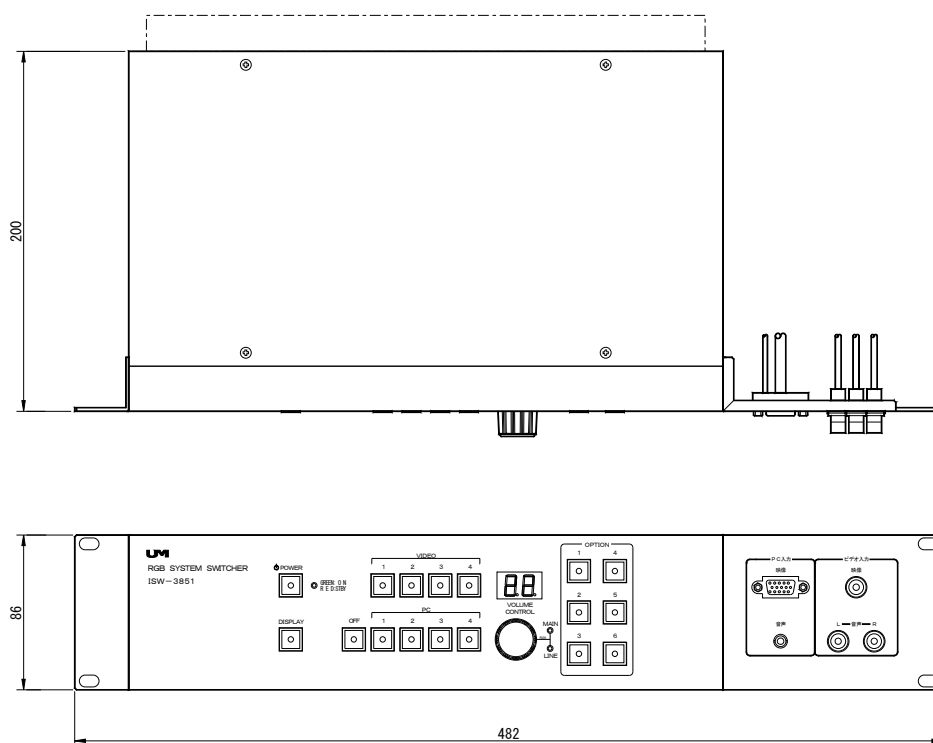
左側金具は、製品添付品を使用します。

スイッチャへのケーブル付。

外 図

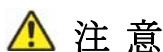


(機器実装図)



## 8. 仕様

●PC映像入力	0.7V <sub>p-p</sub> /75 標準 最大1.5V <sub>p-p</sub> /75	4系統
●H <sub>s</sub> , V <sub>s</sub> 同期入力	TTLレベル (正負両性) コンポジット同期入力可能	
●H <sub>s</sub> , V <sub>s</sub> 同期周波数特性	H <sub>s</sub> : DC~200 Hz 正負両性 TTL V <sub>s</sub> : DC~250Hz 正負両性 TTL	
●D端子映像信号入力	D1~D4自動選択 *1(p34)	
●PC映像出力	0.7V <sub>p-p</sub> /75 標準	
●H <sub>s</sub> , V <sub>s</sub> 同期出力	TTLレベル (正負両性)	
●RGB周波数特性	DC~200MHz -3dB +0dB 0.7V <sub>p-p</sub> /75 標準	
●コンポジットビデオ入力	1V <sub>p-p</sub> /75 標準 最大2V <sub>p-p</sub> /75	4系統
●コンポジットビデオ出力	1V <sub>p-p</sub> /75	出力1系統
●コンポジット周波数特性	DC~100MHz -3dB +0dB	
●音声入力	-10dB <sub>s</sub> /47 許容最大入力: +10dB <sub>s</sub> PC: 4系統、VIDEO: 4系統	
●ライン音声入力	-30dB/47 許容最大入力: -10dB <sub>s</sub>	1系統
●ライン入力アッテネータ	-10dB/0dB 設定可能	
●音声出力	-10dB <sub>s</sub> 最大+10dB/47 (ボリューム最大時)	出力1系統
●音声周波数特性	20Hz~50 Hz -3dB	
●歪	0.02% 0dB <sub>s</sub> 1 Hz入力時	
●S/N	80dB以上 0dB <sub>s</sub> 1 Hz入力時	
●チャンネル間クロストーク	80dB以上 0dB <sub>s</sub> 1 Hz入力時	
●ボリューム (多目的ダイヤル)	メイン/ラインはダイヤルを押すごとに切替。 2秒以上の長押しでライン音声のBASS/TREBLEの調整 ±10dB	
●切替スイッチ	照式モーメンタリースイッチ	
●リモートユニット制御 (REMOTE UNIT)	Dサブ9ピンコネクタ (メス) M2.6mm 合台 オプション リモートユニット「RC-3851」、CB-3851 専用	
●リモート制御 (CONTROL INPUT)	Dサブ9ピンコネクタ (オス) インチ 合台 RS-232C制御 本機制御用	
●プロジェクタまたは 外部機器コントロール部 (CONTROL OUTPUT)	Dサブ9ピンコネクタ (オス) インチ 合台 外部機器をRS-232Cで制御します。(カスタムソフト必要)	
●オプション (OPTION SW. CONNECTOR)	Dサブ15ピンコネクタ (オス) 接点制御の外部機器制御用 6接点出力 キースイッチ入力	
●電源コントローラ	端子台 2ピン 電源コントローラ制御用接点出力	
●電源	AC100V 50/60Hz 日本国内専用 電圧範囲 AC90V~AC110V	
●消費電力	最大15W (18.7VA) /AC100V	
●使用環境	周囲 0 ~40 周囲湿 25%~85% 結露しないこと。	



### 注意

- ・風通しの良い所に設置してください。
- ・機器の熱が直接当たらない所に設置してください。
- ・熱、水、気、煙がかかる所や換気のくには設置しないでください。

●質量	3.1 (体時) ±0.2
●外形 法	体時: 330 (W) × 200 (D) × 86 (H) mm ラックマウント時: 482 (W) × 200 (D) × 86 (H) mm
●装	ライトグレイ 消し付装

製品の定 及びデザインは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

## 9. RS-232C通信仕様

### 9-1. リモート制御 (CONTRL INPUT) 通信条件

項目	設定内容
同期方式	調 同期方式
通信速	9600 b/s
データ長	8 b/t
パリティ	なし
ストップビット	1 b/t

### 9-2. 制御コマンド

「↓」は '0D' (CRキャリッジリターンを表す)

コマンド	コマンド詳細	機能
PWON↓		電源をONする
PWOF↓		電源をOFFする (スタンバイ状態)
PJON↓		プロジェクタ電源をONする
PJOF↓		プロジェクタ電源をOFFする
OT1-m ↓	m : P1/P2/P3/P4/V1/V2/V3/V4	入力切替
MTN1↓		映像・音声ミュートON
MTF1↓		映像・音声ミュートOFF
VM1- ↓	: '0' ~ 'F'	MAINの音量セット (256 )
VL1- ↓	: '0' ~ 'F'	LINEの音量セット (256 )
OP-ON↓	: '1' ~ '6'	オプションスイッチ (1~6) のON
OP-OF↓	: '1' ~ '6'	オプションスイッチ (1~6) のOFF
STA ↓		動作状態の要求 詳細は、P35

※コマンドはすべてASCIIコードです。

※コマンド送信例

- ・ ISW-3851の電源をONにする。  
PWON↓
- ・ PC3の映像に切替える。  
OT1-P3↓
- ・ MAIN音量を200レベルにする。  
VM1-C8↓

## 9. RS-232C通信仕様

### ● 「STA」コマンドについて

ISW-3851の動作状態が下記のフォーマットで出力されます。

	出力値	出力データ詳細
1バイト目	0 / 1	電源状態 (0 : OFF / 1 : ON)
2バイト目	0 / 1 / 2	プロジェクタ電源状態 (0 : OFF / 1 : ON / 2 : クーリング中)
3-4バイト目	r	映像出力状態 (r : PC映像 1/2/3/4/0 0は未出力) ( : VIDEO映像 1/2/3/4/0 0は未出力)
5バイト目		オーディオ出力状態 ( 0 : 未出力) 1 : VIDEO1 2 : VIDEO2 3 : VIDEO3 4 : VIDEO4 5 : PC1 6 : PC2 7 : PC3 8 : PC4
6-7バイト目		MAIN音量 (00 ~ FF)
8-9バイト目		LINE音量 (00 ~ FF)
10バイト目	0 / 1	ミュート状態 (0 : ミュートOFF状態 / 1 : ミュートON状態)
11-12バイト目		オプション出力信号状態 (00 ~ 3F)
13-14バイト目		オプション入力信号状態 (00 ~ 3F)
15バイト目	↓	送信データの終了

### ● 「STA」コマンド以外の応

正常終了時は AC ↓、異常終了時は NA ↓ が送信される。



## 10. 故障かなと思ったら

### 電源スイッチをONにしても、電源ランプが点灯しない

- 電源ケーブルがきちんとコンセントに接続されていますか  
接 の い部分はありませんか
- ACコンセントからきちんと電源が供給されていますか  
他の電気器具を接続し、動作を確認して下さい。
- スタンバイ時のPOWER表示LEDの設定が消灯に設定されていませんか

### 出力コネクタより出力されない

- 接続ケーブルは、断線、接 不良等を起こしていませんか
- コンピュータから出力される画像の解像 、周波数が、表示装置の仕様内か確認して下さい。
- コンピュータから出力される画像がミックスシンク（C s）の場合、シュリンクDサブ15ピン
- コネクタを使用するとき、ミックスシンク（C s）が入力可能か表示装置の仕様をご確認下さい。

### 表示装置の映像は出力されるが、音声が出力されない

- 映像と音声の接続番号を確認して下さい。正しく接続されていますか
- 音声調整ボリュームレベルが“00”（最小）になっていませんか

### 本体選択スイッチと表示装置が連動して動作しない

- 制御ソフトは、オプション扱いです。
- 表示装置の型名と、制御ソフトで対応している型名は同じですか  
同じメーカーの製品でも型名が異なると、制御方法が異なり動作しない場合があります。
- RS-232Cケーブルは正しく結線されていますか  
制御機種によりケーブル結線が異なり動作しない場合があります。

### 本体スイッチ、ボリュームが効かない

- 本体スイッチ／ボリューム操作がロックされてませんか  
上記設定を解除する場合はスタンバイにし設定変更操作にてロックを解除します。  
**設定番号3.4**（ 27）